京城日報

廿七日夕刊
定價 一部金五錢
發行兼編輯人 奧山仙三　印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通二丁目 合資會社 京城日報社

第卅九回特別帝國議會

▲貴族院（二十七日）

廿七日の貴族院は前日の本會議に委員附託となりたる左記三法案の特別委員會を午前十時より開會せり
一、阿片法中改正法律案
一、銃砲火藥類取締規則中改正法律案
一、産業組合法中改正法律案

▲衆議院（二十六日）

衆議院は二十六日午後一時十五分開會大岡議長奉答文捧呈の次第を述べ更に優渥なる勅語を賜りたりと報告すれば滿場起立して敬意を表す、此時寺內首相は閣僚以下を隨へて著席、軈て諸般の報告の後大岡議長は前日の小山松壽君（憲政）の質問に對し一應の答辯をなし之に對し小山君發言を求めしも許されず、寺內首相發言を許されて登壇、貴族院に於けると同樣の施政方針演說を試み次いで勝田藏相登壇大要左の演說をなせり

▽勝田藏相演說

追加豫算の編成に當りては努めて緊縮方針を採り既定の計畫若くは政策に關し又は國力發展上急施を必要とする經費を計上するに止めたり、我邦現時の經濟狀態は頗る好況を呈し此趨勢にして繼續せんか本年中の輸出超過額及び貿易外の收入超過額を通算し約八億圓の收入超過となり內地資金は益々潤澤なるに至るべし、對支投資に就ては對支金融機關を統一整備すると共に日支合辨事業の獎勵を必要とするや言を俟たず、然かも彼我利益の衝突を避け利害共通の實を擧ぐるを以て其要諦とし經濟借款に就ては既に成立せるもの尠なからず、而して近時日米兩國資本家の意志漸次疏通するに至らんとするは諸君と共に本大臣の慶賀に堪へざる處なり

歐米投資に就きては與國軍需品製造の如き共作戰援助の爲め之を引受くるの覺悟なかるべからず今や對英米爲替の如き遙かに正貨現送點を超え片爲替の不利益を蒙り生産品輸出を阻害するが如き現象を呈せんとす故に之等の事情に鑑み歐米に對する投資は刻下の急務なり（中略）

移民金融に就ては海外に於ける我邦移民の發展を圖らん爲め之に關する金融機關整備の必要を認め政府は移民事業に經驗ある東洋拓殖會社をして移民會社の社債を引受しめ及び移民會社をして其代理貸付をなさしむる等の途を開かしめんとす

滿蒙金融問題に就ては政府は東拓法を改正し滿蒙に於ける斯種金融業務を行はしむる方針を採り之に關する方策を本議會に提出せんとす右の外對支金融に就ては政府は將來は支合辨銀行の成立を期するも今日の處其時期未だ熟せざるを遺憾とす

日露金融に就ては兩國間の貿易最近に激增しつゝある狀態に鑑み彼我貿易金融の圓滑を期せしむると共に更に日露合辨銀行の設立に就ても應急の必要あるを認む（以下省略）

▽質問戰開始

藏相の演說終るや本野外相代りて登壇、貴族院に於けると同樣の演說を試み右終了するや議長は通告順に依り憲政會の島田三郞氏を喚く

▽島田君 登壇 本員の質問は首相及び外相に對してなり質問の第一は臨時外交調査委員會なるものに關す當時勅語に應機啓沃とあるは重大なる意義なり斯くては委員外の閣僚は委員會の決議に盲從せざるべからず然らずとすれば單なる決議機關のみ首相は何れに解するや』と政府の內面に鋒を向くるや寺內首相三度登壇して追つて機會を見て說明すべしとうつちやり憲政會側の罵聲大いに起る次で

▽島田君 第二問は我が海軍の地中海活動の動機其の種類、隻數如何又是は日英同盟の義務に依るか任意行動なるかと問ひ

▽加藤海相『軍艦の艦種、隻數は茲に答辯の限にあらず動機は我が船舶の歐洲航路の保護なり』斯くて問答數次本野外相又補足說明を爲し其の間島田君登壇數回議長より注意を受くるに至れるも尙質問を打ち切らず

▽島田君『昨年來西原龜藏なる者屢々東京北京間を往復したる事實あり而して彼は寺內首相の信任狀を得て段總理と會見せりと言ふ』と前提し切りに西原某の北京に於ける行動を述べ『首相、外相の責任ある答辯を望む』と言ふや

▽本野外相 登壇『外交上重大なる質問なるべしと謹聽せしに意外なり西原某の北京に於ける行動に關し政府に說明を求めんとするは頗る意外なり西原某が政府の委任狀を持てりとか政府の使命を有せりとか言ふも斷じて然る事なし』と撥ね付く、島田君の後を承けて質問の第二陣を承はれるは望月小太郞君（憲政）なり曰く

『曩に聯合國より米國政府に致せる回答に依れば我山東及南洋占領諸島の處分に就き何等記載する所なし政府の所見如何、次に露國新政府の非賠償非併合主義に對する我政府の所見如何、又露獨單獨講和が不幸にして成立せんやも測られず此れに對する政府の處置如何政府は特使を露國に派遣する意思無きや、何故に政府は華盛頓會議に列せざりしや倫敦宣言に加盟したる日英同盟の誼ある我帝國は何故に當時代表者を派せざりしや、更に本年六月米國の支那平和維持の申出に就き政府の了解する所如何』

▽本野外相『第一問は前議會にて說明せる積りなり唯平和條件は種々風說せらるゝも未だ全く具體的に講和條件を示したる國無し我國も此の例に漏れず而して非併合非賠償主義なるものに就て我山東及び南洋占領諸島の事は政府に於て我利益權利を保護するに充分なる力を致す可きは勿論聯合各國亦異論無かる可きを確信す又單獨講和に就ては露國が斷じて爲さゞる可しと信ず』と述べ『其質問に就きては言明の限りに非ず』と遁ぶ

▽望月君『膠州灣及び南洋占領諸島の處分に就いては只今の外相の說明により之を善意に解釋し此等が永遠に我國有たる可きものなりと信ず』と斷定し『單獨講和問題に就きては質問終了後秘密會こして外相の說明を聽取し度し』と附言し代つて高見之通君（政友會）と大島陸相との間に露國單獨講和に關する問答ありて

▽押川方義君（無所屬）登壇『押川君は蒙古に在りし我同胞二十名が故無くして退去を命ぜられたり帝國政府は彼等を保護せざるや』と大々的皮肉を弄す之に對し

▽本野外相 は『蒙軍の中に我が日本人の加はり居るは前內閣時代よりの事なり前內閣又再三彼等に解散を命じたりと言ふ余の就任以來も林公使並に該日本人共數次交涉し速かに彼等を日本に歸らしむべく努めたり政府は徒らに海外に活動せる同胞を保護せざるにあらず』と答ふ

▽齋藤隆夫君（憲政）『地方官會議帝國議會等に現はれたる內閣首相の言說に依ると首相は帝國議會は內閣不信任案を提出する權能なく何等議決權すらも無きが如き論據を採れり』とて例の干犯論なるもの不論理なる事を側面より攻擊し『憲法に何等規定なければ卽權能なしと斷ずるは無智も亦極まれり』と難詰す

▽寺內首相『余の演說は決して帝國議會に決議權なしとは言はず只政黨內閣ならざるべからざる理なしと說きしのみ』

▽關和知君（憲政）『寺內內閣成立以來僅かに八箇月間國民の思想を代表すべき言論の抑壓せられたる事件二百餘に上る然も政府は已に利あらざるもののみを壓迫す斯くては我國民に獨立の思想ある國民の思想を抑壓せんとするは固を得んや政府が僻見を以て徒らに陋なり政府將來の方針如何』と述べ最後に犬養木堂氏近來の行操を揶揄して降壇す

▽後藤內相『言論を鄭重すべきは眞に關君と同意なり唯關君は統計に暗きを惜む』と難ずるや關君は更に自席より將來を戒むる所ありて漸く日程に入る

▽日程附議

○裁判所の設立に關する法律案 ○大正二年法律第九號中改正法律案

右二案は一括して松室法相說明し之に就き赤間嘉之吉氏（政友會）の質問あり特別委員十八名に附託

○東洋拓殖株式會社法中改正法律案

勝田藏相の說明あり特別委員十八名に附託

○北海道拓殖鐵道建設費臨時支出に關する法律案

後藤內相の說明あり前案委員に附託

○輕便鐵道補助法中改正法律案

後藤內相の說明あり十八名の委員に附託

○借入鐵道及び輕便鐵道の買收に關する法律案

後藤內相の說明前案委員に附託

○軍事救護法案

後藤內相の說明終りて九名の委員に附託

○軍人恩給法中改正法律案

大島陸相說明し特別委員十八名に附託し一瀉千里の勢にて日程議事全部議了 五時三十分散會せり

▽各委員總會（二十七日）

二十七日の衆議院は午前十時より豫算、決算、請願の各委員總會を開催せり（東京特電）

▽質問通告者

下院 衆議院にては二十七日午前十時より院內豫算委員室に於て豫算委員總會を開く質問通告者は

△政友會 小川平吉、田中隆三、三土忠造、濱水市太郞、武藤金吉、吉植庄一郞の六氏及び

△憲政會 所屬委員二十一名全部

國民黨及び維新會には一人の通告者無し（東京電報）

▽教育費補助案

小學校教育費國庫補助の支辨にかゝる小學校教育費國庫補助案は衆議院に提出せられたり（東京電報）

◎遣日米特使はルート氏か

日米政府間に於て協議中

米國政府は目下露都に滯在中の遣露特使ルート氏一行に向ひ露國より歸途日本に立寄るやう訓令を發すべく考慮中にて右は目下米國政府より日本政府及びルート氏に對し協議中なるが多分實行せらるべしと信ぜらる（華盛頓電報）

◎李王殿下と宮島

神田秘書官より二十六日午後五時發にて其筋へ達したる電報左の如し

李王殿下には午後四時三十分無事下の關御著御出立以來天候至て宜しく御機嫌亦益々宜しく殊に昨夜の嚴島御宿りは非常に御氣に適ひたる由にて承る明日の海上は多分靜穩ならん 總督は明夕當地發二十八日午後八時二十分東京著の筈

◎李王御乘艦

李王殿下は二十七日午前八時三十分御召艦肥前に御乘艦御歸鮮の途に就かれたり天候快晴にて平穩なる御航海の旨其の筋に電報ありたり

◎外事課長張宴

森安東領事滯京中に付き久水外事課長は二十七日午後一時同氏を朝鮮ホテルに招待午餐會を開けり

◎奉迎と學校生徒

李王殿下は廿八日午後五時四十分南大門著御歸還に付き各官公私立學校生徒は同日午後五時三十分迄に南大門より德壽宮の間に堵列奉迎の事に決せり、整列及び敬禮の方法等は奉迎の際と同樣なるが若し雨天の時は中等學校以上の男子のみ奉迎す可し

◎支那の時局は一段落平

黎氏は支那の中心人物‖張勳は解つた老爺だ‖支那內地は靜穩‖旱魃は甚し‖日本の在郷軍人會‖鮮滿鐵道統一は當然だ‖赤痢なんかには罹らぬよ

參謀次長 田中中將談

支那の視察を終り朝鮮に入つた參謀次長田中中將一中將を二十七日早朝京義線の車中に迎ふ、中將は其の長身雄偉の體軀を春服に包み金口の煙草を吐きつゝ語る、支那視察は吾輩にとつて初めての試みだ、此の行前後二ケ月近く

▲南北支那 の各所を歷巡した左樣恰度支那の內爭の起りかけた時支那に入り、其の終熄の遠からざる際に去つたやうなものだ、恐らくも一段落ついたと觀てよからう、北京には一週間程滯在し舊知の黎總統とも會見した、總統は近來參戰問題などで內爭激烈を極め殆んど拾收し難からんとした時は、離意も餘程動いたやうだが大勢の歸結として其の儘と云ふ事に消ねてゐる、何と云つても黎元洪氏は支那の人物だ此人を總統の位より退かしむるやうの事があつては支那は或は亂れるかも知れぬ、黎氏の位置を安泰にして置くのは現下支那の平安を保つ唯一の道である、又氏が總統の職を退けば當然副總統馮國璋之れに更る順序だが、今日の事局は左樣な機移を許さないのである、新に內閣を組織せんとする李經羲氏とは遂に會見するの機會を持たなんだ、予が北京より天津に出る時、氏は天津より上京したと云ふ事である、徐州の

▲督軍張勳老 か、怎うも吾輩と張勳老の會見を何故か世間で問題にしてゐるやうだが……別に意味はない、唯敬意を表し談話を交換したに過ぎぬ、一體張勳督軍と云へば獰猛殘忍的惡鬼羅刹の如く邦人は思つてゐるらしい、然しそれは大なる誤解で張勳氏はいかにも淵のない好々爺である、好々爺だが人物は仲々確乎してゐて話しもよく解る、今度も皆北京の牛耳をとり、內爭の立役者を勤めたが、十分人の上にも立つ風格を備へてゐるやうだ、膽力もあり戰爭にも强い、唯彼れは清朝の遺臣を以て自ら任じ、深く何事か感ずる所あるらしく決して其の辮髮を止めない、上の好む所下之れより甚だしで、張勳の手兵も皆辮髮である、少なくともハイカラでない、それらの點から張勳及び其の手兵は頑愚度すべからずと云ふ風の觀方も生れて來たらしい、假令辮髮をしてゐるからと云つて何も不都合な理由はないのである、支那內爭のため各地出兵頻々のやう日本には傳へられたらしいが、事實四百餘州は靜穩で、吾輩の如く各地を常に旅行したに拘はらず、汽車の運轉も沿線の狀勢もどこにも左樣な騷亂の模樣を認むる事は出來なんだ、但し北支那一帶の旱魃は酷しいものがあるやうだ、或は此の旱魃から食糧の缺乏を譲へ恐るべき兵亂を生みはせぬかと危ぶまれる、兵亂の勃發を見ぬまでも少なくもそれに近いやうな不祥事が起りはせぬかとも思はるゝ、近き間に順當な降雨でもあればよし、若し然らざれば今後の變化は注視しなければならぬ、支那遊歷中色々な所感もあつたが、主なる都市、日本人の三百人もゐるやうな場所はドコに行つても

▲在郷軍人會 の組織を見て甚だ愉快で又心强かつた、吾輩は各地に於て其の求めに應じ講演を續けて來た、有事の場合强力な在郷軍人團がいかに必要であるかと云ふ事は茲に絮說を要しない、獨逸の如き法律の力で其會の組織を實行してゐる、吾國の在郷軍人會は何等法制によつてはゐないが、其の發達と充實は國家のため國民たる者は寸時も忘れてはならない、鮮滿鐵道の併合問題か吾輩をして云はしむれば非常に實現が遲れてゐる、吾輩は日露の戰後直ちに其の必要を提唱し爾來今日に至つた、一體大陸に於ける帝國勢力下の鐵道を二つに分立さして置くなど云ふ事は頗る不味いやり方だ、之れを同一系統に律し其の經營をやり設備の完成を圖ると云ふ事はドの方面より見ても必要である、遲れたりと雖もなさゞるに勝るだ、朝鮮には吾輩も古くから關係を持つてゐる、殊に近く朝鮮を通つたのは大正二年渡歐の際だつた、が、其當時の記臆と今日を比較するに餘程內地の情景に似て來たやうだ、但し灌漑の施設とか耕地の整理とか云ふ方面は尙ほ多く手を加ふるの餘地があるやうぢや、と將軍の說は產業にも及ぶ、吾輩は

▲總督府の年報 を見てゐるが、農產鑛產などの增加は實に著しいものだ、之れ全く總督政治の成功である、奉天でのアメーバ赤痢か、イヤあの時には弱つたよ、何分斯く長旅を續け且つ御馳走責めにあうと若干腹中の機關に狂ひも來やうし、疲勞も出やうと云ふものだ、で稍には休養も必要である、吾輩が休養のため張作霖督軍の馳走を一日辭退したので早速赤痢と稱されたのである、ために方々から電報が際るやうに來て閉口した、京城には僚友（立花古海白水將軍等）悉く李王奉迎のため不在らしいから一日ホテルで休養し卽夜南行歸京するよ

奉迎者心得

十五分前に到著の事‖文官御服は白服を著す可からず

李王殿下には長途の御旅程何の御障もなく二十八日午後五時四十分南大門御著御歸京の筈なるが御出迎の爲め南大門驛內入場を許さるゝ者は御著十五分前迄に必ず驛構內一定の場所に到著すべし若し右の時刻に遲るゝ時は入場を拒絕せらるゝ事ある可し又た出迎者は非常の混雜を避くる爲め勅任文武官及び各國領事は特別室入口より奏任文武官在郷軍人李王職判任官新聞記者其他官民代表者赤十字社員愛國婦人會員は驛前左端團體入口より入場せらるべし而して文官の制服は通常禮服又は黑の者に限り白服を著用す可ずと

◎軍司令官動靜

西鮮地方巡視の途にある秋山軍司令官は二十七日鎭南浦發龍岡轉地療養所を視察し二十八日午前九時鎭南浦發同十時四十分平壤著直ちに聯隊長の實施する各部隊の檢閱狀況を巡視し柳屋旅館に投宿の筈なり二十九日平壤發兼二浦黃州等を視察七時二十分龍山へ歸著すべし

◎田中次長入京

田中參謀次長は二十七日午前八時南大門驛著入京せり龍山驛には高橋武官岡本御用掛參謀、小田大塚軍參謀、竹內副官、加藤在郷軍人龍山分會長、龍山憲兵分隊長等出迎へ又南大門驛には關屋學務局長在郷軍人京城分會長以下在郷軍人十餘名及び太田憲兵大尉等の出迎あり、次長は總督府より差し廻したる自動車にて直に朝鮮ホテルに入り關屋局長軍師

◎李堈公釜山行

李王殿下御出迎のため李堈公殿下は二十六日午後七時五十分南大門驛發列車にて釜山に出發せられたり二十八日午後五時四十分李王御搭乘列車にて御歸京あるべし

◎趙重應子南行

子爵趙重應氏は李王歸還奉迎のため二十七日午前八時三十分南大門驛發列車にて南行せり

◎服部臺鐵事務官退京

入京中なりし臺灣鐵道事務官服部仁藏氏は二十七日午前八時三十分南大門驛發列車にて木浦に向ひ更に大田に引返し東上する由

◎隊署長打合會

京畿道警務部にては廿七日午前八時半より京城府內各隊署長を召集し打合會を催せり

◎十八銀行增資

十八銀行にては業務の發展に伴ない今回現在資本金三百萬圓を六百萬圓に增加する事となり二十六日在內地の主なる株主の同意を得たるに付更に來る七月二十日臨時株主總會を開き之れを決定する由

◎奢侈品一部解禁

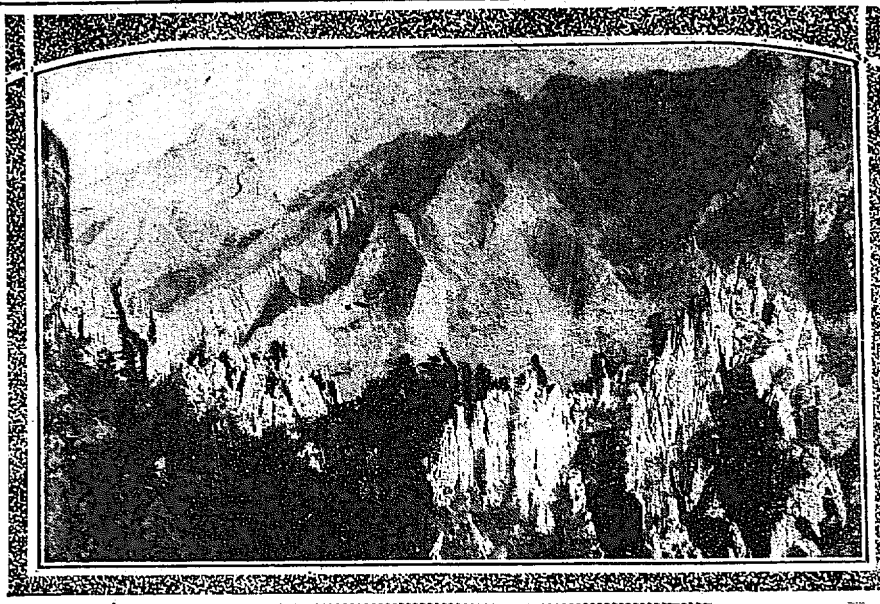
露國大藏省にては今回嚴に輸入を禁止せる奢侈品中左の各品を解禁せり
一、銀又は金鍍金せる安全剃刀ジレツト
二、懷中時計用金鎖のみかを有する箱子又は金及銀鍍金したる指環
三、裝飾用部分品卽ち金鍍金せる簡單板及びピン
四、木綿靴紐
五、芬蘭より入國する旅客携帶のビスケツト

人事消息

▲鈴木四郞氏（三井鑛山价川主任）二十七日夜入京浦尾へ
▲池邊稻生氏（元山土木局技師）同上不知火へ
▲原野準一郞氏（久原社員）二十七日朝退京
▲淺野茂一氏（下關消費商會員）廿六日夜退京
▲高井愼太郞氏（福岡藥業株式社員）▲靑木要藏氏（同）宮內源太郞氏（同）同上
▲櫻井鼎氏（鎭北捕公學校長）▲石原靜三氏（同鏡木學校長）二十七日午後退京
▲加藤弘氏（貿易商）同上
▲新井要之助氏（會社員）同上
▲中村新太郞氏（鑛務技師）鑛床調査の爲め二十六日平安南道管內に出張
▲森本小太郞氏（滿洲日々記者）二十八日朝入京

◎お斷り

二十六日の衆議院電報は電線不良障碍等の爲め同日中には遂に到著せず已むを得ず本日の紙面に採錄せり



◆金剛奥萬物相 ◆未だ世間に知られてゐない◆

金剛山の雄觀はこれまでいろ〱紹介せられたれど奥萬物相の壯大さは未だ世間に知られて居ないやうである

◆近頃新たに見付けられたる奥萬物相(裏萬物相とも云へやう)の峰より見たる羅漢峰の奇岩であつて大きな鬼の牙のやうな白い岩が幾十尺の底なしの谷間から劍戟のやうに衝ツ立つてゐる、此の奥萬物相といふのは温井里の鷄谷寒霞嶺を登つて萬物相に到り更に金剛第一關門の新萬物相から三賢峯に登つたところで海抜四千尺、萬物相の絶巓から

◆東方長箭洞の海岸に面した方面である、絶頂からは西方遥かに萬二千峯の盟主たる毘盧峰をはじめ神溪寺奥の集仙峰の山々をのぞみ東方日本海の公一碧を望まれる、更に眼を北方に轉ずれば千古斧鉞を入れざる大密林で時々千佛洞のあたりタングステン鑛のダイナマイトが遠雷のやうに響く之を

◆これまでの萬物相に比すれば恰度巨刹の門と内殿との差を認める、奥萬物相は實に萬物相中の萬物相である(金剛山温井里にて岡本愛峯氏寄書)

●李王殿下 下の關御出發
轟く皇禮砲=盛なる市民の奉送

二十六日夜下關春帆樓に御宿泊遊ばされたる李王殿下には二十七日午前六時御起床御出發の御準備中先づ女官、長谷川總督、山縣政務總監等御乗艦肥前に到り殿下を迎ふ殿下には八時春帆樓御出發儀仗兵の

▲喇叭吹奏中に大吉樓下棧橋へ御著同所には柴第十二師團長井上要港司令官、關門兩市長其他出迎あり殿下にはカーキー色の陸軍大將服を著用擧手の禮を爲し御召艇神風丸に御乗艇村上富士艦長御先導軍艦肥前及び壇ノ浦より發する皇禮砲の

▲殷々たる間に御乗艦に御著重なる奉送者御別れの伺候を爲したる上、同八時五十分拔錨供奉艦村雨、朝霧と共に釜山に向け御歸鮮の途に就かせられたり之より先港内には關門兩市の奉送者多數汽艇に滿船飾を爲し大里沖迄御見送を爲したるが猶御出發に際し軍艦富士よりは皇禮砲を發し門司よりは

▲烟花を發揚し又海岸一帶には小學校生徒小國旗を手にして萬歳を連呼し近來稀なる盛況裡に殿下には愈々本土の地を離れさせ給へり(門司特電)

●御乗艦より無線電信
◇西南風に濃霧あれど海上恙なし◇
設備整へる御旅館の居間

二十七日李王殿下奉迎の喜びに輝ける釜山の空は朝來曇り晴れやらねど滿街の軒には國旗翩飜たり御召艦よりの無線電信に依れば軍艦肥前は二十七日午前八時三十分下關を出發洲上は西南の風に濃霧あれど御召艦は今朝霧村雨の

◇二艦を殿驅 としつゝ玄界洋を一路釜山に向ひつゝありと釜山の御著は豫定の如く午後六時三十分にして稅關棧橋より御上陸あらせらるべければ御東上の砌と同樣盛觀を極むべし、尚ほ夜間は奉迎の提灯行列、煙火打揚、探海燈の光とり〲に美觀を添ふ可し御旅館なる鐵道ホテルは眞に寳の如く殿下にはホテルの階上露臺より不夜城の

◇盛觀を御覧 せらるゝ筈

●咸興の窒扶斯

咸南咸興附近に於ては目下發疹窒扶斯の流行熾んにして咸興署にて檢病的戸口調査[illegible]宿舍に起臥しつゝ[illegible]を以て其の感[illegible]播力恐るべきも[illegible]りて豫防困難を極め患者は他地[illegible]入來れるもの と雖も[illegible]傳播今猶猖獗にして或は工事中止已を得ざるに至らんも知るべ[illegible]

●御歸鮮を待ち奉る釜山
港内は滿船飾=市街は國旗を揭げて
―李王殿下御搭乗の軍艦肥前は二十七日午後六時五十分入港―

李王殿下には御東上後 皇室に於ける御儀式を首尾克く取濟ませられ御歸途伏見桃山兩御陵に御參拜の上沿道各地を御觀覧遊ばされつゝ二十六日下の關に御安着春帆樓に御一泊、二十七日

▽長谷川總督其他 の御見送りを受け艦艇にて軍艦肥前に御搭乗海路御恙なく同日午後六時五十分釜山港に御着直ちに同艦艇に御移乗下の關に御出迎へ申し上げたる山縣政務總監、古海鐵道局長官、國分次官、尹侯爵、閔長官其他の隨員並に御乗艦迄御出迎へ申上げたる李堈公、立花第十九師團長、白水釜課長、朴泳孝侯、李完用伯、李海昇、其他日鮮貴族大官及び佐々木慶尚南道長官、水間警務部長、若松府尹其他在釜山高等官と共に同七時稅關棧橋より御上陸あらせらるゝ筈なるが同棧橋より御旅館釜山

▽鐵道ホテル迄 陸海軍儀仗兵、文武高等官、民間代表者、在郷軍人、中學校、商業專修、公立商業、公立普通各學校、第一第二第三第四第五各小學校、高等女學校、實習女學校、以上職員生徒、一般官公吏、民間の重立ちたる人々、赤十字、愛國婦人會員等御通路の兩側に整列し奉迎中を殿下には稅關倉庫前に建設したる府の奉迎大綵門を御通過相成り沿道奉迎の諸員に御會釋を給ひつゝ釜山驛構門より驛構内に進まれホテル玄關より御階段を昇られ特別構造の和洋兩用式の御居間に入らせらるゝ筈

◆同ホテル階上なる殿下の御居間には特に殿下の爲めに設へたる感嘆の寳には純白のカーテンを垂れたり又額を開きたる洋風の室には野菊、撫子を縣崖の松大鏡に映ゆ又楓の盆栽も美しく白薔薇香ふ窓際にカーテンを開けて釜山の港給の如く滿船飾を施せる汽船のかなた赤崎岬

▽典膳內人來着 李王殿下には二十六日釜山御上陸同夜鐵道ホテルに御一泊相成るに付き奉仕の典膳內人、女官二名、男子二名は二十六日午後七時著列車にて來釜直ちに御準備に取掛れり

▽御出迎の人々 李王殿下御出迎の爲め二十六日午後七時著列車にて來釜せられたる重なる人々次の如し(釜山)
▲立花第十九師團長▲朴泳孝侯▲李海昇氏▲閔丙奭氏▲佐々木慶尚南道長官▲水間同警務部長

▽隨員其他宿舍 殿下隨員並びに出迎諸員の宿舍は左の如し
閔長官、國分次官、尹侯爵、武官、典醫、事務官、屬、醫師、內人(以上御旅館)山縣政務總監、立花師團長(大池旅館)古海鐵道局長、松井總務部長(松井旅館)李堈公(福田岡陽館)[illegible]

◆淺霧の裡に 霞みつゝあり、市民は大綵門及び御通路の白砂等奉迎の準備遺憾なく完備せり(釜山にて特派員發電)

●少し位ゐ降つても大丈夫
相撲場の準備

太刀山伊勢の濱一行の東京相撲は二十七日午後七時二十分南大門驛著列車にて乗込み愈々廿八日初日を出すべきが相撲場は多少の雨天にても興行出來るやう準備も整ひたれば少々の雨は厭はずして觀客を迎ふ可しと

▲日本麥酒と無料券 大日本麥酒會社京城出張所にては今回東京大相撲京城興行に關し破天荒の企てを爲すべく計畫中なりしがサッポロビール大瓶半打購求者に對し大相撲興行四日間通用の無料入場券を進呈する由なるが、普通木戸錢は一人三十錢なれば好角家にとつては頗る便利なるべし

愛讀者優待
本券御持參の方に對し一名限 卅錢の木戸を廿錢に割引致候
東京相撲 木戸割引券
京城日報社
京城興行中

◆養蠶に御熱心なる李王妃殿下
‖昌徳宮の秘苑内香閣にて‖
御飼養の春蠶は極めて好成績

昌徳宮の秘苑内香閣に李王妃殿下の御飼養遊ばされたる春蠶は極めて良好の成績を以て去る二十二日收繭したるが

◇其の量は 合計一石一斗五升三合にして此の内上繭一石五升同巧繭九升八合薄皮繭五合にして掃立蟻量一匁に對し四斗三升九合の成績をあげ得たる次第なり妃殿下には朝鮮民の

◇養蠶奬勵 の思召を以て明治四十二年以來引き續きて前記香閣蠶室に於て御養蠶遊ばされ居たるが今年の御養蠶は五月二日蠶種を貯藏函より取り出し直ちに催青に著手し同月十五日正午掃立を爲したるが其の掃立蟻量は

◇二匁四分 にして用桑は秘閣に接續せる瞻金門内の市平、[illegible]桑、齢の内の三種を以て之れに充て蠶兒の飼育に就きては總督府勸業模範場の岩田技師囑託を受け時々出張し來り其の指示の下に養蠶婦金田映安賢洙楊淳姫の三名專ら直接飼養の

◇任に當り たるが蠶種は昨年製造の又昔にして在水原女子蠶業講習所に貯藏し置きたるものにして飼育中は晴天續きにて僅かに一回の曝雨を見たるのみなるを以て從て室内の温度も亦高く蠶兒の發育

◇速やかに 聊かの病蠶を生せず掃立以來三十日にして全部上蔟せりとの事なり猶繭の一部は來年度の蠶種とし其の餘は蠶室の傍に設けある製絲機械にて生絲と爲し美術品製作所にて樣々の絹布にせらるゝ筈なりと

人スパレルサツチ、米國人ジャーフイー二等(六十三名)葉山文子、同米子、同敏秋、同正秋、同光秋、根岸時助、同輝子、同卯平、同喜男、濱井綾五郎、星川進、兼川正兵衛、宮本つる子、矢田部貞介、曾我地喜四郎、長岡勁太郎、何野國太郎、渡邊秀太郎、永江一郎、根本由藏、[illegible]
一等(一名)西岡保良 二等(二十二名)神崎吉太郎、同みさ、鈴木傳輔、原俊次、同錦、同道雄、同幹雄、同みち子、藤田信吉、生田貞男、吉川康、川西長衛、岡田正、馬場惣三、大原佐與、吉岡惣三郎、森山慶三、中島でつ、大堀宏獻、[illegible]

▽軍艦肥前電飾 殿下を御迎へ申上げたる軍艦肥前は二十七日夜は釜山港内に碇泊し滿艦飾は滿艦飾、夜間はイルミネーションを施し探海燈を以て御旅館附近を照し御旅情を慰むる由

▽釜山市民奉迎 釜山港内に碇泊せる各船舶二十七日早朝より何れも滿船飾を施し旗影海面に映じ港内壯觀を極め市内各戸は國旗を揭揚し電車は國旗を交叉して運轉し奉迎の意を表す

▽生徒提灯行列 殿下御滯泊中の御旅情を慰むる爲め市内各學校職員生徒は二十七日午後七時大廳町朝鮮銀行釜山支店橋なる鐵道局用地廣場に參集同八時爆竹を合圖に先發は第一、第二、第三、第五の各小學校、公立普通學校、公立商業學校、商業專修學校、中學校の順序を以て各校名の高張提灯校旗を押立て職員生徒は各自提灯を携へ集合地を出で、大廳町より本町四五丁目の伏見山麓を通過して草梁入口より海岸埋立通り榮町を經て釜山停車場前廣場に整列し若松府尹の音頭にて殿下の萬歳を三唱する筈なるが此行に參加すべき學校職員生徒は其數約三千名にして同山中腹より間斷なく打上ぐる煙花は沖天に円華を描出し壯觀を極むべく伏拝山號は殆んど提灯を以て連り尚停車場御旅館前廣場には一萬燭を點ずと

●八歳の少年泥醉して頓死

大阪市北區梅田町前山熊藏の弟榮次郎(八)は遺傳性の大酒飲にて二十五日午後九時近所の小供と酒宴りして三合餘を傾けたる儘泥醉醒めず二十六日遂に死亡せり(大阪特電)

讀者文藝(一等に五十錢 秀逸に三十錢)

△一口噺『其時々の事』
△芝居好き『藝術座一行は十九日釜山座で皷を鳴らしたさうだ』甲『ハーフ米の値下げ運動だな』 龍山 雛騎記者
△『カイ八公フラン(降らん)ので困るな―』八公『世は採々だなーおれなんかフランので困つてるよ』 仁川 松川秋市
△『陪審の顔をみて居た細君』『そう云ふ奴は學資が敵でおつ執ふさ』 群山 米加平
△讀者『神經衰弱は第一衛生でなくて第二衛生に處せられたのを不服で控訴したら第三衛生で二箇年に減刑されたのを又上告して三衛生で無罪にして貰ふ勘定してるそうだな』 京城 安本 勝月

【課題】【募集規定】
▲下旬分は『云ひ出した』 廿七日締切 廿八日發表
▲同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲贈呈は一週間後▲種類の異る作は用紙を變へ一題二句以内の事
▲用紙は端書

天氣 くもり
曇小雨後晴(廿七日午後六時より廿八日午後六時迄)
六月廿八日 滿潮 午前四時四十四分 午後[illegible]

商況

深川在米特電
二十七日現在高
朝鮮米 八四、三五〇
內地米 三六、九五〇
米 一、七四七、六七九

東京期米特電
廿七日前場 八月限
寄付 二三、四九
高値 二三、五五
安値 二三、三六
止め 二三、四〇

大阪株式
銘柄	拂込	廿六日前場	後場
宇治川水	五〇、〇〇		
京阪電鐵	五〇、〇〇		
東洋紡績	五〇、〇〇		
合同紡績	五〇、〇〇		
鐘淵紡績	五〇、〇〇		
同上新株	五〇、〇〇		
東洋精糖	五〇、〇〇		
大阪商船	五〇、〇〇		
日本郵船	五〇、〇〇		
同上新株	五〇、〇〇		
堂島米穀	五〇、〇〇		
東京新株	五〇、〇〇		
大阪株式	五〇、〇〇		

大阪期米特電
二十七日前場 寄付 二三、九二 二三、七一 二三、四〇 [illegible]

下關期米特電
二十七日前場 寄付 [illegible]

雜報

●綿糸布小高し 綿糸布共に模樣一般に現物値[illegible]
●方に五錢高 現物一圓に比して五錢高を報せり
●滿洲大豆高 大連特電 一齊高を告ぐ[illegible]
●洋灰益々昂騰[illegible]
●市中値九圓五十錢[illegible]
●支那商人の買附[illegible]
●牛皮支那輸出[illegible]
●入一層困難[illegible] 向は運賃騰貴[illegible]
●商店へ九圓以下の朝鮮仕入[illegible]
●米國皮革界[illegible]
●支那皮 悉皆逆輸[illegible]

●銑鐵益々軟弱[illegible]印度銑の輸入
●瓦産額増加[illegible]二三千枚宛の出來 毎日一萬
●依然品薄[illegible]
●罐詰類強硬[illegible]
●素麵更に昂騰[illegible]十一圓といふ高値
●鰹節は頭打ち[illegible]高値と約二割方下落
京城正米[illegible]期待折角の潤雨も時期遲れ[illegible]約二十錢安 相場は之に添[illegible]
京城雜穀[illegible]
南大門の廻穀[illegible]
仁川現物市場[illegible]

確實(定期米 取引所仲買人)迅速(賣買案內)仁川海岸町 廣澤正次郎 電話六〇番

釜山穀物(廿六日)
△正米(堅らず)[illegible]
▲當中限戰[illegible]
▲正米高し利かず投げ續出[illegible]
▲正米界強硬[illegible]
十八圓四十錢 十八圓七八十錢買望
▲地方買注文も入り込 正米の思惑買及
▲押目乎否乎[illegible]
▲眼先果して如何[illegible]

釜山水產市場(廿六日)[illegible]

仁川期米
▲二十七日前場(俄然暴落)
天候晴 昨止より十九錢安の入電二節[illegible]
二十錢と更に暴落臨時入電[illegible]大阪九節[illegible]
十九錢安に寄付[illegible]
入電に投げ續出二十六錢と大暴落更に大暴落臨時[illegible]

市場零聞
▲俄然暴落す[illegible]
▲一變軟弱[illegible]
一面順氣譽の賣物多く結局不勢[illegible]
正米界の强硬を傳へて買氣を刺戟[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 仲買店 主任 西川平治郎

仁川米豆取引所 二十七日の八月限

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 三巴仲買店

…を行ひたるに重名の患者を發見し現在十九名の罹病者あり同地は目下軍…合等にて斡旋し居るも到底經費負…工事盛にして日鮮人職工人夫四百…擔に堪へ得ざるを以て防疫費中より…五十名と支那人三十餘名入込共同隔離所を設け此所は收容しつゝあり

この二人 何方が偉いか

朝鮮に來て怎んな事を感じた 小僧と朝鮮人―大井冷光氏談

左に掲ぐるは廿六日午後一時より南大門小學校に於て開催された本社主催お伽大會の席上、大井冷光氏が本題の開演前に語つた趣味ある談話の大要である

私共のやうに内地に許り居る者には朝鮮に居る内地の少年少女諸君がどのやうな勉強振を爲て居られるか又どのやうに遊んで居られるか判りません。朝鮮人の著物をきてそして朝鮮人の帽子を冠つて

勉強したり遊んだり

して居るでせうかと訊ねられる事もあります。又滿洲に居る日本の少年少女諸君は支那人のやうな風を爲て居るでせうかと問はれても私は見た事がありませんから返事の爲やうがありません。其れで是非一度朝鮮や滿洲に渡つて日本の少年少女諸君の元氣のよい顔を見たいものだと考へて居りました所、今度幸ひ自分の作つて居る雜誌に少し閑が出來ましたので、ヨシ來たと飛出して參つたのです。

其れが本月の八日で

ありましたが、此の日は皆さん御存じの李王殿下が天皇陛下や皇后陛下に御挨拶なさる爲に初めて日本にお渡りに成つた日でした、其の日に私は朝鮮に向つて東京を出發したのですから、何んといふ好記念な事であるかと喜んだのであります。夢の間に私を乘せた汽車は下の關に著いて、其の夜朝鮮海峽を渡り、翌日の朝九時釜山に著きました。其の日は日曜で殘念乍ら學校を見る事は可能なかつたが、此處彼處に

朝鮮人が白い衣服を

著、長い煙管を啣へ五六人蹲んでは何やら話合つて居る樣子、如何にも悠長に見ゑます。二三日前に李王殿下が内地にお渡り成つた時にもきつと彼の朝鮮人達は長い煙管でボカリ〳〵煙草を吸乍らお見送した事であらう。遉に朝鮮は物靜かな悠長な處だ。第一に私は感じました。兎に角見物でも爲やうと俥屋を呼び、學校は何處だ。連れて行つて呉れと言つて俥に乘りました。すると後ろから鈴を鳴らして自轉車がやつて來た

見ると十二三の 元氣な内地人の小僧

さんだ。其の小僧さん口に手紙を啣へて走つて居る。何處に行くのだらうと私は俥の上で見て居ると、四辻の赤いポストの方に走つて行く。ポストの傍には朝鮮人が三人許り寄掛つて煙草を吸ふて居る。朝鮮人が退いて呉れなければ、其小僧さん手紙を入れる事が可能ないのですがどうするかと私は見て居りました。すると小僧さんはポストの傍まで走つけ口に啣へた手紙を手に取るや否や、『ヨボ其所退け』と怒鳴りました。驚いぞツ…小さな小僧さんが

大きな朝鮮人の三人

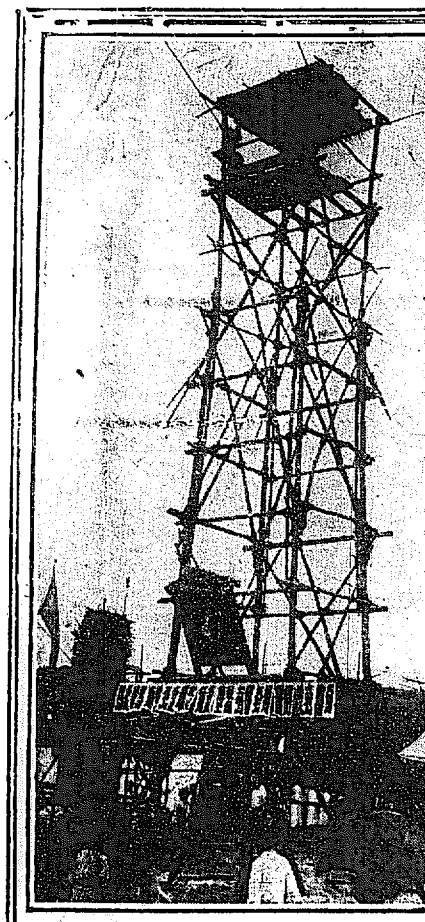
も居る所へ驅込んで其所退けとやつたんだから、私は偉い小僧さんだなと思つた併し之は本當に偉のでせうか朝鮮人は優しく親切でした。ニコ〳〵し乍ら此所を退きました小僧さんはさも得意にポストに自轉車を乘つけ左手でポンと手紙を投入れ左樣ならとも言はず立去りました。が、之は一體誰のお蔭でせうか。小僧さんが本當に偉くて朝鮮人が退いたのでせうか。若しあの時朝鮮人が、何ッ生意氣なと小僧さんと

喧嘩を初めたらどう

なるでせうか。喧嘩が初まらないかららこそ、もつと叮嚀にやらなければならぬのです。多分此小僧さんは學校に行つた事の無い物の判らぬ人であつたに違ひない。自分より下の者、自分より弱い者、自分の目下の者に親切を盡してやるのが、本當に偉い人ではないでせうか。如何に内地人は威張られるからとて、威張散らすと云ふのがよいでせうか。私は其の小僧をボカリやりたかつた程です。

其の後怎んな 心得違の人を見ずに

愉快に彼方此方と見物致して居りますが、唯日本人は弱い、偉いものだと怒鳴れば誰も、ハイ〳〵と言ふ事を肯くもんだと云ふ風な心得違の人があつたならば、皆さんは能く誡めてやつて下さい。之を先づ皆さんにお願して置きます。



♣四股の響 出來上つた明治町相撲場の櫓

桑不足で養蠶家手を燒く

―中には盜桑をなす者あり―

仁川府に於ける蠶兒狀況を聞くに天候乾燥せる爲め蠶兒の發育の良好なる事は近年嘗つて經驗せざりし處なるも四眠に入りてより桑不足を訴へ甚しきに至つては蠶兒を棄てんとする者あり、盜桑をなす者等ありて養蠶家は何れも桑の補給に苦心慘澹たる者ある樣樣なるが何分稀有の旱魃の爲めに桑葉の發育不充分なるに搗て、加へて飼蠶意外の方面に增加し居たる事此程に至りて發見したれば養蠶家は何れも桑の買込みに先を爭ふ始末にて其結果は前記の如く形勢問題迄も起し兼ねまじき振舞をなす者ありとか取繭は早きは二十四日頃より開始し居る由にて先深及び形狀は甚だ宜しけれども桑不足の爲め薄皮の懸念無きに非ず養蠶家は何も桑の增殖の必要を痛切に感じ居れり（仁川）

佛國水兵邦人大工を斬る

二十六日神戸に入港せる佛國汽船ポルトス號の水兵二名は大工和木富次郎と上海より航海中口論し洋刀にて富次郎に重傷を負はせたる爲め取調べ中（大阪特電）

麥燒赤らむ

四割以上の減收を見ん

仁川管内に於ける麥の作付反別は僅十五町歩で九十三石内外の豫想收穫に過ぎぬが此の作柄を聞くに秋麥は寒害を受けて約二割の減收春麥は四割方の旱害を被つて居る見込みであるも乾燥地に於ては所謂『旱赤らみ』と言ふ狀態で完全の結實を見ない裡に既に黄ばむで居から實際の收穫は五分に達し得るやさへ疑問であると云々と語れる者あり（仁川）

渚の砂

■大蛇と格鬪 埼玉縣入間郡所澤元町[illegible]立川政吉（六二）三男豚太郎（三〇）が[illegible]で困るから大蛇の生膽が効くといふことを聞いて蛇を搜して居る内二十日の朝[illegible]見附け之れを生捕ふとして咬みつかれ互に格鬪して蛇に搦みつかれた儘玉川上水に墜ち込んだのを救はれて危く助かり大蛇は[illegible]

■女學生から藝妓 大阪で藝妓に成りかけて一時問題になつた廣島縣立高等女學校卒業生[illegible]（二二）は今度大分縣別府[illegible]玉枝から醫者になつて[illegible]

■監獄が本宅 茨城縣東茨城郡[illegible]村[illegible]の山小倉神木對藏太郎（四二）といふは十六歲の折から竊盜其他十三犯で今日迄三十年[illegible]監獄生活[illegible]

■奇術師捕はる 岐阜縣吉城郡[illegible]術師永見六三郎（四二）は本郷の[illegible]て東京市中で奇術を演じて[illegible]を捲上げ[illegible]拔擢に逮捕されたが[illegible]獄の中で研究したのださうな

■少女の一念 岐阜縣[illegible]の松隈かゐは（一八）は[illegible]として[illegible]光（一九）に[illegible]た[illegible]に[illegible]火して自殺[illegible]る二十一日捕へられた

俥上や電車内で本を讀むな

▽眼の調節力を弱らせる

此頃の人は無暗に近くして物を讀む癖がある、物を讀むには一尺二寸位隔てなければ不可ぬ背骨を曲げ腕を竪めて讀物に接近しやうとするから

◆眼も腦も體格も同時に傷ふことになる、物を讀むには身體を眞直に伸ばし下腹へ力を入れ讀物を稍や傾けて視るのが宜しい、よく寸隙を惜む人が俥上又は電車の中で搖られながら讀見をしてゐるがアレは非常に眼の調節力を弱らせるばかりで無く兎角近視眼に陷る基であるが、眼自身が衰へると次には必らず神經衰弱が來る

◆神經衰弱の大部分が眼病から來てゐることは最近の發見で明らかである、獨り神經衰弱のみならず、私の臨床經驗に據れば心臓リウマチス、胃腸病、蓄膿病、ワセドー氏病、坊主に非ざる禿頭病、糖尿病、鼻の氣管支病、眼疾、船暈、藥物又は食物の中毒を起し易き特異素質などの諸症が眼の衰弱と密接の關係があり眼の方を癒したらば是等の病氣も自然全治したのである

◆多くの人は眼病を自覺しないで居る、又自覺しても、潰れぬ限りは棄て丶置く、併し眼の過勞から生ずる眼及び他器官の衰弱は確に恐るべきものであるから呉々も視力の濫費をせぬやうに心掛けて貰ひ度い、電氣や夏の日光や雪の照り返しが眩くして眼が明けて居られないなど云ふのも一の病だから捨て丶置いてはならぬ

◆讀書の光線は左上方から採り反射光を眼に入れぬやう、電氣ならば十六燭光位が適當であらう、海水浴の後には必ず眞水で顔を洗つて置かぬと鹽分の刺戟で血膜炎を起す、白砂の反射、海波の反射も血膜炎又は網膜疲勞症を起し易いものだから眼性の弱い人は藍色かロンドンスモーク（灰鼠）の眼鏡を掛るが可い

◆光線の作用は皮膚にも眼にも七色以外の紫外線が影響するのであるが赤、黄、綠等に對しては紫外線は無力だから是等の色を以て日光を隔てれば直射反射の害を免かれることが出來る、就中ロンドンスモーク眼鏡が安價であり且つ不愉快も尠い（某醫學博士談）

◎頑固伯正の消息 [illegible]

台所 その日その日

▲大阪の淺漬 これは臺所にだけでつけこみます、五六寸位の細目の大根を洗ひ根も葉も一緒につけます、[illegible]石をしておきます二十日位置いて食べます、[illegible]

きざみ漬 [illegible]

大正館

櫻井町 電話八七三

[illegible]

告在鄉軍人

李王殿下二十八日午後五時四十分南大門驛御著に付分會員は構內分會旗の下に築集奉迎相成度し

在鄉軍人會京城分會

職工募集廣告

一、內鮮人製鑵職工ヲ募集ス希望ノ者ハ履歷書ヲ送附スベシ

仁川土木局出張所

演藝案內

京城壽町 壽座

電話七五八番

▲大阪大歌舞伎澤村源之丞一行 六月廿二日より廿八日迄日延なし

前 源之丞十八番の 鍋島猫騷動

切 奧州安達ヶ原 三段目

[illegible]

黃金館

電話二三七 六五二

▲魔術大博士松旭齋天一總員六十餘名

▲世界的大魔術師松旭齋天一は渡米研究

[illegible]

御成座

電話二九一

[illegible]

有樂館

電話 [illegible]

[illegible]

御料 御園化粧品

薄化粧には御園の月

淡泊した極く高尙な薄化粧には、化粧水御園四季の花を塗り其上に誰方にも手輕に御化粧の出來る水白粉御園の月をお粧遊ばすが一番です。お顔色の勝れぬ時とか、夜分の御化粧くしく嗜きますので、尙淡紅色御園の月はほんのりと櫻色に美料として至極重寶で御座います。〔定價金二十五錢、五十錢〕

肌を養ふには御園四季の花

化粧水御園四季の花は濃厚特製化粧水として天下一品の賞贊を博し其特効は皮膚の荒れを防ぐは勿論、日焦け、吹出物、にきび、汗疹等を防ぎ、之れを日常缺かさずお塗け遊ばすと肌理を細かく滑かにし、お顔の色艶を麗はしくする事到底他の化粧水の比では御座いません。〔定價金二十錢、五十錢〕

頭髮油には御園香油

是からの季節には粗惡の香油を御愛用遊ばすと、厭はしい臭氣を發しますが、御園香油は普通の香油に比べて見ますと此心配は毫もなく、粘氣なくサラリと非常に氣持よく嗜き、襟を汚さず雲脂を生じない特長が御座いますから、紳士淑女方に大變な御評で御座ります。〔定價金廿五錢、金五十錢〕

齒磨粉には御園齒磨

御園齒磨は化學的に完全なる貴重な原料を以て調製へて居りますので、普通の齒磨よりも粉末が非常に微細かく、口中にて溶け易く、其使ひ心地のよい事申分なく、之を缺かさず御愛用遊ばすと、齒牙を美しく丈夫にし、口中一切の病氣を防ぐ優れた特効がありますので、何れの御家庭に於かれても非常な歡迎を受けて居ります。〔定價金十錢、二十錢、五十錢〕

本鋪 御料御園白粉 伊東胡蝶園

發賣元 御料御園白粉 丸見屋商店

(262)

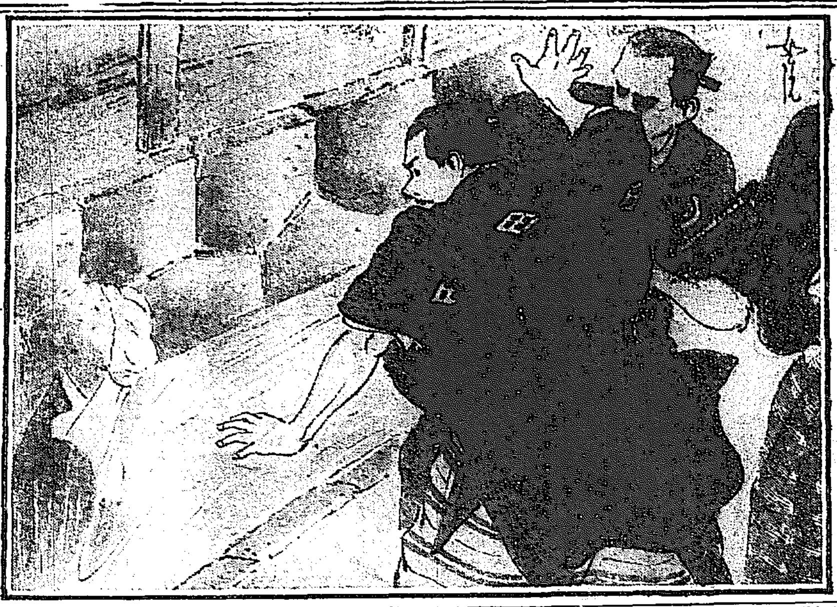
報豫 ▲京城溫度 六月廿七日正午 京城府廳 七十七度四分 …

[illegible]

明君道中記

第百八十九席　田邊南龍口演

松平長七郎は名古屋城内に滯在をいたして居りましたが、是より京都大阪を見物する積りであつたが、絵圖面を開いて地の理を御覧なされたが、急に伊勢の大神宮へ參詣をしたいと云ふので宇平次に對ひ　長『宇平次京都と參るつもりであつたが是より伊勢路へ參つて内宮外宮へ參詣いたさうと思ふ故伊勢路へ案内をいたせ』宇『畏りました』素より何處と定めて行うといふ旅ではございません、時々諸國を見ては氣が變つて彼方へ行う此方へ參らうと云ふのであるから宇平次宅兵衛もお心任せにして居ります、乃で名古屋を出立の際大納言義直公より若干のお手當金を下し置かれましたから宅兵衛より厚く御禮を申し上げて途に名古屋城を出立いたしました、それより海上七里の渡しを越して桑名に出で、追分より伊勢津の城下に入つて參りましたが、當所は三十五萬石の藤堂大學頭殿の領地でございます、城下の本町常陸屋十兵衛といふ旅籠屋へお客になつて一兩日逗留をして居りましたが、木鼠の三次は宅兵衛に對つて　三『三宅さん　宅『何だ　三『他事でもございませんが私は一ッ城下を見物をして來たいと思ひますが、仲間の服装では氣が利かないから貴下の服装をそつくり大小ともに貸して下さいな　宅『俺の服装を借りて何うするのだ　三『貴下の服装で侍と云ふので威張つて見物をして來たいと思ひます　宅『何も威張るには及ぶまい　三『外に威張りはしませんが木刀では叶けねい、大小を帯して肩で風を切つて歩いて見たいから大小を貸して下さい　宅『貸ても宜いが外へ出て間違ひでもしては叶んぞ　三『大丈夫でございます』三次は宅兵衛の衣裳を借受てすつかり着替へ羽織袴で大小を帶して　三『それでは行つて參ります』常陸屋方を立出で町中をブラリ／＼と見物をしながら三次は參りました　三『何にしろ酒氣が無いと外を歩いても面白くねい、其處らで一杯遣つて行う』幸ひ向ふに一軒の酒店がありましたから其處へ入つて參り　主『發…　女『入らつしやいまし、此方へお上んなさいまし』三次は奥の座敷へ通らうとする時三人の侍が其處に酒を飲んで居ります、其の後を通る時に素より粗忽な男であるから侍の大小へ蹴躓いたから堪りません、大小を向ふへゴロ／＼と蹴飛した、三次は驚き　三『是はとんだことをいたしました何うぞ御免なすつて』と詫ると三人の侍は酔て居るから勘辨をしない　侍『コレヤイ侍の大小を足下にかけると云ふことがあるか、不禮至極な奴じや　三『何うもとんだことをしました御勘辨なすつて下さいまし　侍『見れば其方も侍ではないか、只勘辨をしてくれと申しても了簡はならん　三『了簡はならんと被仰るがそれでは何うすれば宜いので　侍『何うすれば宜いとは何だ、表へ出て尋常の勝負をいたせ　三『御冗談被仰つては叶けません、そんなことで勝負が出來るものか、全體蹴飛したのは悪いが歩く處へ大小をお置きなさるのは貴下方の御無念で　侍『何に此奴不禮をいたして置いて貴下方の御無念とは何だ、愈以て勘辨ならん奴だ　△『イヤ不埒至極な奴斯様な奴は懲しめの爲打擲いてお遣んなさい　〇『イヤそれが宜い』詫るも肯入れずして三次を其處へ取つて押へ打つやら蹴るやら散々に打擲をして　侍『ソレ表の溝へ投り込んでしまへ』三人で引摺いで三次を向ふの溝へ打込んでツイ／＼云つて三人の侍は引上げてしまひまして



六月二十八日
舊五月十一日壬寅
木命七赤西成先負

▲七赤● 思はぬ爭を起さんとす新事見合すべし ▲八白● 大利の日轉居入學金件名弘は吉 縁談西 ▲九紫● 自己の爲になる日新事手控常の事は吉 萬事控にせよ ▲一白● 好都合の日轉居求職出池名 ▲二黒● 造船新築大なる金融を計る吉 婦女子の意外の幸福ある日也 ▲三碧● 病にさわる事有る日 ▲四緑● 他の下拵へは吉新事手控 萬事妨なし ▲五黄● 盛運の日轉居入學金件名弘求職 建築婚約に吉 ▲六白● 親の目に勝の日

廣告

外科 皮膚科 泌尿器科 花柳病科 一般
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院
電話四一九番

大阪市坂口紙店特價表
○九特模造紙二十錢三厘替
同並製十八錢八厘替
同刷紙旗印十八錢三厘替
同金巻印十五錢五厘替
不二十八番十八本入三十四圓八十錢
同二十五番十六本入三十四圓五十錢
同二十番十四本入三十一圓七十錢
同三十二番二十本入三十八圓三十錢
對紙富士五千枚入二十三圓七十錢
同粟島二萬五千枚入三十二圓二十錢
同朝日二萬五千枚入二十六圓七十錢
和紙見本御入用の節は何國産何紙の格何程位御指定有次第適當の見本差上可申候（但一個實に限）
大阪市東區北久寶寺町二丁目三九
和洋諸紙 卸商 坂口友次郎
電話東二六五四番 振替大阪四一三二六番

ルーデサック
男用一打 四拾錢 特製六拾錢
女用一個七十錢 特製七十五錢 月經帶一個八十錢 一圓 各種（送料要）
◎有効◎保證 痲病梅毒專門藥
痲病梅毒自宅療法（小冊子）
京城永樂町二丁目交番北
東京ドラッグ商會 滿鮮本部

大好評の澤村源之丞一座
見落す勿れ二十八日限り
譯村源之丞十八番の
前 鍋島猫騷動 全六場
龍藏寺佛參の場々夜櫻殿遊覧の場迄
此の處平土間四角へ四ッ網を張り澤村源之亟事左官彌太郎の女房お仙より引拔き居所早變りにて化猫に變り四ッ網の上にて空中の奇藝最も驚くべき特劇を御覧に入れ候
切 奥州安達ヶ原 三段目
特等九十錢、一等七十錢、二等五十錢、三等廿錢
京城 壽座 電話五七八番

魚釣具及投網卸賣
□御申越し次第定價表進呈　「遊船御案内」
京城永樂町二丁目 小吉備商會
電話三一四番 振替京城四三一八番

内科 小兒科 入院隨意
京城壽町山元町
柴野醫院
電話二〇四番

資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
京城本町一丁目
株式會社 百三十銀行京城支店
電話 五八番 振替貯金京城二一九三四番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地有之候

内外科 小兒科 花柳病
京城本町二丁目（警察前）電話二一六番
診察自午前九時至午後九時 日曜祭日正午迄
院長 正六位勲四等功五級 高井貞治
副院長 千葉醫學士 松崎正彦
高井醫院

醇良無双清酒
無害衛生 品質無双
富士館 商標 菊薫
醸造元 福岡縣城島町 首藤合名會社
發賣元 京城府黄金町二丁目 首藤京城支店 長電話一七一一番
釜山港幸町 首藤釜山支店 長電話三四三番

資本金參百萬圓
明治四十三年十八年設立
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城府南大門通一丁目十四番地
株式會社 漢城銀行
頭取 男爵 李允用
專務取締役 韓相龍
電話 一六四六番 二一三九番
振替京城一八二〇五番
支店所在地 水原、平壤、大田、開城
出張所所在地 南大門、鍾路、東大門

眼科專門
京城本町四丁目カルルス温泉横（電一五五六）
金井眼科醫院
日曜祭日午前中
金井豐七

花王石鹸の

眞價愈々顯る！

商品の價格は販賣者の任意であり、商品の信用は需用者の任意であると致しますれば、必ずしも高價なものが純良であり、廉價なものが不良であるとは認められない譯であります。殊に素人目に容易く品質の鑑別がつき兼ねるものに於て、單にやすものとして品質を顧みぬ位損な妄斷は無いと存じます。

然るに品質本位の花王石鹸が事實に於て二十有九年間廉價なる良品として認められ、帝國陸海軍、帝國大學、赤十字病院、慈惠病院、鐵道院等を首め、滿天下に甚大なる信用を博し、日を逐ふて驚くべき産額の増進を追出しつゝあることは、慥に江湖御高識の賜にして、茲に深厚なる謝意を表し奉ります。

花王石鹸が廉價なる良品と認められる理由は、要するに『贅費を避けたる純良石鹸』といふに歸着致しますが、之は今架說する迄もなく、化學上の實驗に於て、市上の賣價に於て、又は實際御使用の効果に於て十分に證明せられて居ると存じます。

猶又産額の増加は生産費の遞減となり、延いて品質の向上となり、回一回、より緊張したる廉價の良品を提供致したいと存じますから　何卒此の品質本位花王石鹸の比なき眞價を愛でて層一層の御眷顧を垂れ給はんこと、只管切望に堪へない次第であります。

花王石鹸製造元　東京　長瀬商會

汽車

京城日報
第三版
六月廿八日（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五十五錢 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人　奥田直毅　印刷人　小川三之介
發行所　合資會社　京城日報社　京城太平通一丁目
電話番號 [illegible]

京城日報

李王殿下の東上と其の効果（上）

李王殿下が日韓併合以來、七星霜を經たる今日に於て、我が皇室より賜はりたる御優遇を謝し奉らんが爲に、遠途を厭せず、御東上あらせられたるは、日鮮兩民族の一大慶音にして、國史ありて以來、破天荒の盛事たり。吾人は、殿下が山海恙無く、善く其の使命を全うして御歸鮮あらせられたるを見、衷心より之を慶し、且つ祝せざるを得ざる也。

謹で日本の古史を案ずるに、崇神天皇六十五年、大加耶の王子于斯岐、阿利叱智干岐、日本に來朝の事あり。日本書紀に曰く。

御間城天皇之世、額有レ角人、乘二一船一泊二於越國笥飯浦一、故號二其處一曰二角鹿一也。問レ之曰、何國人也。對曰、意富加羅國王子、名都怒我阿羅斯等、亦名曰二于斯岐一、阿利叱智干岐。傳聞二日本國有二聖皇一以歸二化之一。

又垂仁天皇、三年三月、新羅の王子天日槍來朝の事あり。日本書紀に曰く。

初天日槍乘レ艇、泊二播磨國一、在二於宍粟邑一。時天皇遣二三輪君祖大友主與二倭直祖長尾市一於二播磨一、而問二天日槍一曰、汝也誰人。且何國人也。天日槍對曰、僕新羅國主之子也。然聞二日本國有二聖皇一、則以二己國一授二弟知古一而化歸之。

此の如く古史の傳ふる所、一にして足らずと雖、是れ皆王子王族の來朝に止まるのみ。而して這次李王殿下の御東上に至りては則ち然らず。殿下は、日韓併合前、韓國の元首として一國に君臨し給ひたる位置を占められたるに於て、事、單に皇族の御來遊に過ぎざるが如くなりと雖も、其の御東上は國史ありて以來の重大事にして、吾人は、御東上の結果が精神的に於ても、物質的に於ても、其の效果の極めて偉大なりしことを信ぜざらんと欲するも、能はざる也。

第一に、殿下の御東上に就て、吾人の宜しく識認せざる可からざるものは、我が明治大帝の御稜威、及び今上陛下の御聖德是れ也。明治大帝の宏謨は、至仁至大にして、帝國の不恭を恢宏し、東邦全局の平和を保維するに在り。今上陛下其の遺業を紹ぎ、經文緯武、以て皇化を布かさせ給ふ。是に於て乎十三道の山河其の面目を革め、一千有餘萬の黎庶皆其の恩澤に浴せざるは無し。李王殿下が、而のあたり其の王家の安寧と民衆の康福とを見るにつけても、明治大帝及び今上陛下の御盛德を欽仰し、御東上の台慮を決せられたるもの、洵に偶然にあらず。然らば則ち殿下の御東上は、取りも直さず、我が明治大帝及び今上陛下御聖德の然らしむる所なりと謂はざる可からざる也。

朝鮮の教科書（八）

編輯課長　小田省吾

一　普通學校教科用圖書（其八）

第三　習字帖（全四冊）　漢字の書寫は一般朝鮮人の得意とする所なるも近時に至り國語の假名並に假名交り文にも習熟する必要を生じたり。本習字帖の目的は之に應せむが爲にして、内地人をして之を揮毫せしめたるが故に、其の漢字は多少朝鮮一流の筆勢と異なる所あるも成るべく習ひ易きものとなせり。而して本書編纂上注意せし點は左の如し。

一、假名漢字の外若干諺文を加へ實際の必要に應せしむ。（諺文は朝鮮人揮毫）

二、習字帖の字句は各相當學年の國語讀本と相待つも、國語讀本に於て充分提出し能はざる日常必須の字句は習字帖に收め之に習熟せしむる方針を取れり。例へば十干十二支、内地人及び朝鮮人の普通氏名、御年始御歲暮等の如き常用文字是なり、從て是等讀本にて學ばざる字句には振假名を施して誤讀の虞なからしむ。

三、習字は大體手本の文字と同樣の大きさに練習せしむる方效果多しと認め、此の方法によらしむることとし、各學年に應じて文字の大さを定め、最終學年に於ては殊に細字を多くせり。又卷一には附錄として若干の文字につき結構運筆等の順序を示し練習の便に供せり。

第四　朝鮮語及漢文讀本（全四冊）

朝鮮語、漢文は舊時代の普通學校に在りては二教科目として取扱はれしも、現行普通學校規則の制定せらるゝに當り、朝鮮の現狀に鑑み右兩者を存續するの必要を認むると同時に合併して一教科目となして取扱ふこととせり。蓋し兩者の關係、最も密にして此方便利なるを認めたるによりて編成し、朝鮮語教科書も亦同一主要に、朝鮮語教材漢文教材を同一卷冊中に適當に配列し、相依り相助けて以て學修に便ならしめむことを期せり。就中特に茲に一言すべきは諺文につきてなりとす。諺文は朝鮮特有の表音文字にして、之により種々の語を自在に表はすことを得るは極めて便利なるも、其の結合の方法種々にして其の表はすべき語又無數なるを以て、之を兒童に敎ふるに當り、國語に於て五十音を範語に依りて示すと同日の談にあらず、然れども成るべく國語と同一方法によりて教授するの必要を認め茲に一種の方法を案出し、範語法に依り直觀的に教授し得ることとなせり。之れ蓋し朝鮮語と漢文との教材を同一卷冊中に收めたると共に從來の方法に一新機軸を出したるものにして、[illegible]して朝鮮に特有の教科書と謂ふを得べし。今回讀本編纂上の主なる點を擧ぐれば左の如し。

一、諺文假名遣法は世間慣用のもの區々なるにより本府制定普通學校諺文假名遣法によりて記し、出來得る限り實際の發音と一致せしめて其の用語を正しくす。

二、朝鮮語は諺文綴字より始め單文を敎へ次で文章に及ぼし、文章も卷一は全部口語文とし、卷二より文語を主とす。

三、漢文は最も普通にして簡易なる漢字より始め、單語單文より文章に進む。

四、朝鮮語漢文共何れも其の教材は國語と同樣國民性を涵養するの點に重きを置き、又道德を敎へ常識を富まし普通の事物を辨へしむるに意を用ひて選擇し、殊に朝鮮語教材に於ては第三學年以上に朝鮮地理の一班を授け、漢文教材に於ては成るべく教訓となるべきものを取れり。

五、漢文教材は動もすれば抽象的に陷り易きを以て成るべく具體的材料を選び、小學論語孟子等より取れるものあるも、又愼思錄先哲叢談の如き日本の漢籍より取れるもあり。富士山、中江藤樹の如き我が國の事物史傳をも加ふ。又朝鮮に於ては漢文に句讀を施さゞるも其の代に『吐』（送り假名の類）を附する例にして之なきときは學修極めて困難にして時としては敎授を誤ることあるを以て同讀本中の漢文には凡べて『吐』を附し、又[illegible]文章の典據を示せり。

支那商工業の變遷（三）

今關天彭

一七　明代の商業（其二）

歐洲人の支那に交通したのは、古い以前からであつた。しかし羅針盤を以て航海して東方に向つたのは、明の中葉頃からである。武宗の正德十一年（西暦一五一六年我が後柏原の永正十三年）葡萄牙が來り、次いで西班牙が來り、次いで和蘭、英吉利が來た。（一）葡萄牙人は、孝宗の弘治十一年（西暦一四九八年、我が後土御門の明應七年）始めて喜望峰を廻つて印度に達し、[illegible]年には[illegible]洋から支那海に入り、[illegible]東に達した。支那官吏は厚遇して上川島に碇泊するを許した。上川島は今の廣東廣州府の新寧縣である。その通商地は、廣東、寧波、廈門等で、みな商館を建て、就中澳門（廣東廣州府香山縣）を租借して根據地ともした。隆慶の初（約一五六〇年）葡人澳門の地を假りて家屋を建て、年々租金五百兩を納めた。（二）西班牙は、世宗の嘉靖元年（一五二二年、我が大永二年）始めて太平洋に出で、支那に入り萬歷八年（一五八〇年、我が天正八年）に至り、使を明廷に遣はして、通商を求めたのであるが、嘉靖四十四年（一五六五年）には菲律賓群島を占領し、馬尼刺城を建てゝ根據地とした。（三）また和蘭は、神宗の萬歷二十四年（一五九六年、我が慶長元年）始めて東洋へ來た。阿非利加を繞つて印度に出で、それから爪哇、蘇門答臘の諸島を過ぎて來たのである。初めは澳門を掠奪せんと欲したが、支那人と葡萄牙人との爲めに合擊せられたので退去した。當時支那の商埠は、葡人が跋扈して居たから、和蘭人の手を染めるところがなかつたが、熹宗の天啓四年（一六二四年）以後は臺灣に交易し、基隆、淡水にある西班牙人を追ひ、遂に臺灣を占領してこゝを根據地とした。

▲大變動大混戰

天候依然[illegible]
[illegible]に十八錢と押し二十一錢と返して大混戰裡に大[illegible]動み演出し底堅き成行を示して散會 [illegible]

▲暴落の原因

本日前場は大阪の暴落に連れて暴落したる者なるが後場は前場に於て[illegible]より大買物[illegible]早くも買方主力筋の投げ出さな[illegible]

▲二十七日後場當限 [illegible]

東京大相撲
木戸無料入場券
（京城興行中何日にても通用）
東京大相撲京城興行中何處の店からでも……
サッポロビール大瓶半打御買求めの御方へは相撲木戸無料入場券壹枚無代進呈致します
サッポロ　アサヒ　ヱビスビール釀造元
大日本麥酒株式會社
京城出張所

第卅九回特別帝國議會

▲衆議院(二十七日)

▽豫算委員總會

衆議院豫算委員總會は廿七日午前十時十五分開會蒸し返す暑さにも怯げず委員會室は傍聽議員と新聞記者にて立錐の餘地なく唯だ無數の白扇胡蝶の如く動くのみ政府側は寺内首相以下後藤、田、仲小路、勝田、加藤、大島、松室の各大臣(本野外相は母堂葬儀の爲め缺席)其他政府委員總て出席委員席には島田、武富、尾崎等民軍の諸豪雄を駢べて頗る偉觀を呈せり驀て委員長山本悌二郎氏は爽かなる口調を以て開會を宣すると同時に提出案に就きては既に本會議にて各大臣より説明ありたるを以て此處には省略する旨を告げ先づ政友會の三土忠造君に發言を許せり

▽三土忠造氏 一、八四艦隊計畫は歐洲戰役に鑑み内容變更の必要なきや二、物價騰貴の爲經費に影響せずや三、海軍補充の將來の財源如何

▽加藤海相 一、海軍省にては研究の結果計畫内容は今の處變更の必要を認めず二、物價騰貴に伴れて増加せる經費は追加要求すべし三、將來の財源は藏相の説明に讓りたしと答へたり仍りて三土氏は藏相に對して財源を質すや

▽勝田藏相 減債基金の一部を充當するやも知れず其際にても國庫の收支は猶五千萬圓償還を爲し得べしと信ず

▽三土忠造氏 曩に二個師團増設の際予等が延期説をなせるは現戰役に鑑み軍器の改良の點多しと信じたればなり然るに當時の陸相は二個師團増設に關係なしといへり然かも現に今日歐洲戰爭の結果砲其他改良すべきもの多きにあらずや陸相は猶舊説を維持するや

▽大島陸相 軍器の改良は常に研究し居れり二個師團増設は猶完成までに數年を要す故に改良補足すべきものありとも格別の事なし

▽三土忠造氏 飛行機、飛行船、自動車の經費は僅に二十萬圓内外を以て歐洲列國に遜色なきか

▽大島陸相 此少額にて滿足するに非ず殊に自動車の如き大に顧慮すべきものあれども現在の國力に相當せる計畫を樹てたるのみ更に三土氏將來民間に兵器製造を許す考なきかと質問せしに陸相は我軍器製造能力は開戰以來増加し目下充分なりと信ずるも民間の製造亦不可ならず

▽三土忠造氏 更めて農相に對し

一、製鐵所の擴張年限を更に短縮して民間の需要を充すに力むる意なきか

二、製鐵所の豫算と收益金の一致せざるは如何

▽仲小路農相 は之に對し

一、時局に應ずる爲め政府は其の可能の範圍に於て短縮せり

二、鐵價暴騰の爲め豫算の改革を期するを得ざるは已むを得ず

次いで三土氏は發明品奬勵に關し文部省は經費計上の意なきやと問ひ

▽岡田文相 は今回の豫算編成に間に合はざりしと答ふ斯くて三土氏の質問終り尾崎行雄氏に移らんとせる時十一時四十分なり仍て休憩す

午後一時十五分再開民軍の猛將

▽尾崎行雄氏 起ち、氏は先づ寺内首相に問ふ所ありと冒頭し近來滿鮮鐵道統一を稱ふるものあり政府の成案如何と問ふ

▽寺内首相 滿鮮統一に就いては目下樞密院に諮詢中なるが其要點は關東都督をして滿鐵總裁を兼ねしむるに在り又朝鮮鐵道は滿鐵をして兼營せしめ滿洲の領事は特別任用とすべし

▽尾崎行雄氏 臨時外交調査委員會の設置は外交に關する 天皇輔弼の責任機關を二ご爲すものなり又現内閣成立以來事務と政務の紛淆多く甚だしきは郡長の更迭を行ひて彼等を政爭中に投せしめたるが如きあり寺内伯は之を以て猶ほ官紀振肅を全うし得たりと爲すか

▽寺内首相 外交調査委員會は憲法上に何等支障なしと信ず地方官の更迭は何等政爭に關係せず選擧は頗る公平に取締れり

▽尾崎行雄氏 内務大臣が選擧に對し偏頗なる訓示を爲し文部大臣が前科者を選擧に應援せるは何の狀ぞ

▽岡田文相 左る事實は無し事實無きものには答辯の限りに非ず

▽尾崎行雄氏 現内閣の對支外交は極端に北方派を援助し現在の紊亂を釀せりと傳へられ居れり事實なりとすれば大問題にして若し事實に非ずとすれば何故誤解を一掃するに力めざるか

▽寺内首相 他國の内爭に干渉するこごは帝國政府の最も避くべき所にして其方針渝るここなし帝國政府が或は北方派を援助すといひ或は南方派を援助すとの説あるは適々以て政府の公平不干渉の態度を持せるを示すものに非ずや

□東宮山陰行啓 皇太子殿下には御見學の爲め七月三日東京御出發山陰道各縣に行啓あらせらるべき旨仰出されたり(東京電報)

▽尾崎行雄氏 西原某は支那に對して從來深き關係ありと聞く然るに現政府は某に紹介狀を託して支那政府と密かに交渉せしめたるは如何之れ林公使を除外せるものにて不法なり如何

▽寺内首相 西原某とは朝鮮在任當時より知己の間柄にて支那の國法にも明かにて克く國家を思ふ人士なるも余は尚も國務上に關しては相談若くば委任の行動を執りし事なく從つて紹介狀委託の事實もなし

▽尾崎行雄氏 寺内首相は元老攻撃をなしたるものを不敬罪を以て律す其の故如何

▽寺内首相 帝室に累を及ぼすが如き事あらば罪するも差支なしと思惟す

▽松室法相 元老を攻撃するは差支なきも苟も累を帝室に及ぼせば罪して可なり當局は故なく自由の言論を壓迫して罰したる事なし

▽尾崎行雄氏 『後藤内相は總選擧當時出版物を頒布したる事實あり之れを認むるや否や』と質したるに後藤内相は得意の微笑を漏して『尾崎君は所謂其の出版物を讀みたる事ありや』と反問し尾崎氏『然り』と答ふるや

▽後藤内相 『然らば出版法第一條に何こ規定しありや』と疊み掛く

▽尾崎行雄氏 『第一條は知らず』と答ふるや

▽後藤内相 『出版法の規定すら知らずして秘密出版物を讀みたりとは平生崇敬する尾崎君にも似合はざる事なり發賣頒布を爲さざれば之を出版物と稱するを得ず』と辯じて復席す

▽尾崎行雄氏 『之を知人に頒ちたる事實を認むるや如何』と問ひ

▽後藤内相 『認む』と答へて質問終る時に午後三時三十五分尾崎氏の質問終るや國民黨の

▽鈴木梅四郎氏 『歐洲戰役後の國防計畫に變革なきや』との質問に對し首相、海相より其適宜の處置に遺憾なきを期し居る旨を述ぶ鈴木氏更に潜航艇の製造に對し帝國政府は如何なる施設ありやと問ふ

▽加藤海相 我海軍工廠製品は外國製品に優るものにあらざるも政府は此完備に就きて研究しつゝあり又鈴木氏より今後製造する潜航艇は如何なる型なりやと問へば海相は中型にして當分大型は建造せずと答へたり次で鈴木氏は航空機改良費に就いて質問し大島陸相より航空機の改良費は近く支出を仰がざる可らずと答ふ更に鈴木氏は航路補助に關し質問するところあり

▽田遞相 は航海業の殷盛は一時的現象にして補助費は繼續費なれば今俄かに打ち切る能はずと答ふ右に對し鈴木氏は日本郵船會社は七割の配當を爲し社内にてすら紛擾を起せり同社は創立以來一億圓の補助を國庫より受けたり政府の見解は國民之れを知らずと述ぶ田遞相は政府は會社に對し契約の範圍内にて充分の監督を爲すも其の他の會社の方針に關しては容喙するを欲せずと答ふるや委員長は散會を宣す時に四時二十分(東京特電)

▲不信任案提出 三十日本會議上程

憲政會は二十八日衆議院に政府不信任案を提出するに決し三十日本會議に上程討議の筈なり其の内容如左

衆議院は現内閣を信任せず

理由

一、政策に基礎を置かず

二、成立以來經綸の見るべきなし

三、對支外交失敗

四、總選擧干渉

五、臨時外交調査委員會設置不當

▲重要問題審査

政友會の政府交渉

政友會は今期議會が短期なるに拘はらず政府案多く加ふるに豫算案には政策としても重要なるものあれば其の中の最も緊急なるものを維持し通常議會に讓り得べきものは政府に交渉して審査せざることに決したり(東京特電)

◎奉迎者位置

李王殿下には二十八日午後五時四十分南大門驛御着御歸京に就き奉迎者は南大門驛前五丁目側に學校生徒は南大門内太平通入口より大漢門前迄の兩側に整列奉迎の事に定められたり

◎朝郵運賃値上 近く實行すべし

朝鮮郵船會社にては總督府受命航路運賃引上の認可申請を遞信局に提出中なる事は既報の如くなるが當局にても同社の各種關係に付銳意調査中なりしが廿五日附を以て會社申請中に若干の削減を加へ認可の指令を與へたり仍て會社は今回各店長を集め協議を遂げ範圍内の實行運賃に關し協議を進めつゝあるが多分兩三日中に決定再び當局の認可を得て成るべく早急に其の實行をなすべしと云ふ

◎商議約手問題

既記の通り京城商業會議所評議員の一部を以て組織せる商業部會は二十六日午後二時より會議所樓上に於て商取引上約束手形の支拂場所を銀行に一定する件に關し種々なる打合せを爲したるが勿論一人の異議者なく近日中主なる商取引者及び銀行業者等を會議所に招集して其の趣旨の徹底と約手自宅拂等の舊慣打破の實現方法等の打合せを爲す筈なるが目下京城府内に約束手形に由る取引者内鮮人を通じて約五百名あり此等の内には無論已に約手の支拂場所を銀行に一定し居るものも多少あれども其の大部分は尚約手の自宅拂を爲しつゝあり之が爲種々の手數を増し日々約手の支拂日なるかの觀を呈し時間と勞力の不經濟は商取引上遺憾此上なき現象にして此等舊慣を矯正して京城商取引の圓滑と敏活を期するものゝ如し

◎荷物代金引換規程

鐵道院荷物代金引換規程及び同荷物代金引換手續き左の通改正し來る七月一日より實施することゝなれり

第二條第一項中に左の但書を追加す

但し荷物到着後二十日を經過する時は荷送人の費用を以て之を荷送人に返付するものとす

(以上荷物代金引換規程)

荷物代金引換手續第五條中左の通改正す

代金引換荷物到着通知文中「金子」の次に「及小荷物符又は貨物通知書」を加へ括弧内を「居宅引換の場合は其の要無之候」に改む

第八條を左の通改正す

第八條 荷受人が荷物到着の通知を受け後三日以内に荷物の受取方を申出でざる時又は其他の事由に依り引換不能となりたる時は著驛は其の旨を發驛に通知し發驛は更に之を荷送人に通知すべし若し荷物到着後二十日を經過するも其の處分未濟なる時は著驛は其の荷物を附して發驛に返送し發驛は遲滯なく之を荷送人に通知し其の取引を爲さしむべし

◎遞信局會議

遞信局主要職員會議は二十七日より會議室に開會持地局長、海事出張所長、技術官、本局各課長以下各關係官列席したり

◎川上理事歸期

滿鐵川上東拓理事は病氣の爲め福岡に旅行中の處病院前、東京屋に滯在中なるが慶笑の容態も良好に付近く歸任すべしと

◎大井冷光氏出發

滿洲よりの歸途本社に立寄られたる大井冷光氏は二十七日朝南大門驛發列車にて出發歸東したり

◎李甲氏逝去

舊韓國陸軍參領李甲氏は久しく露領滿洲地方を流浪しつゝある中激烈なる神經痛の爲め數年來手足の自由を失ひ病床に呻吟し居たりしが去月十四日午後二時露領ニコリスク附近に於て其妻子實兒等の看護を受けつゝ終に逝去したるを以て屍體は該地墓地に埋葬したりと

人事消息

▲笠井眞三氏(小野田セメント技師長) 二十七日夜入京朝鮮ホテルへ

▲飯島和介氏(古川鑛山顧問) 同上大連へ

▲服部仁藏氏(臺灣總督府塩務課長) 二十七日夜退京

▲黒田久吉氏(東京圖按印刷業者) 同上

■南言北語■

廿六日の衆議院の本會議では首相、外相、其他の施政方針演説があつたのに對し▲憲政會では島田三郎君が質問をやる筈だつたから▲之れが今期議會に於ける憲政軍肉迫奮闘の第一戰だに依つて定めて意氣揚然たるものがあつたのだらうと思つて居たら▲島田君の氣焔頓と揚らなかつたらしいが之れちや憲政軍の劈頭戰の失策か▲二十七日の豫算會では其の仇討ちの爲めか憲政會では同派の委員二十一名が全部總がかりで質問戰をやつたらしい噂も賑やかな事だつたら▲尾崎や武富君等も飛び出すとの事だつたから大分凄い太刀打もあつたに違ひない▲日本の議會では八字髭や伊賀栗頭や禿頭が嫋を起て唾を散して居るが▲米國では最初の女代議士ランキン嬢が先月下旬の下院で大演説をやつて居る▲演題は其時討議中の食糧法案であつたが嬢は修正案を提出した即ち食糧分配に關する事務に婦人を雇ふ事を得るの修正であつた▲而して其の理由を婦人なご演説すると滿場一致で直ちに可決したのみならず▲平生は喫煙室から出て來なかつた議員連中も議席に就き傍聽席も滿員で前古未曾有の盛會であつた相な▲矢張り人氣は女に限ると云ふ處で女子參政權には大反對だ▲木ノ瀨君と連袂脱會した津末良介君の脱會理由に曰く▲『加藤子は何故幡隨院長兵衛になつて水野の屋敷へ乘り込み組上の鯉とならなかつたのか▲愈々乘り込んで談が合はねば飛び出して水野の屋敷にこんな刄があると叫んでこそ男ぢやないか』と▲然らば津末君は何故唐犬權兵衛になつて『親分しつかりおやんなせえ』と勵めなかつたのだらう

□電報=欄外にあり

○北京政府の時局樂觀

南方各省の行動に關する諸報頻々として到るも北京政府は對外平靜にして時局の前途を樂觀しつゝあるものゝ如し(北京電報)

○愛蘭海軍ご米提督 臨時司令官に就任

クインスタウン來電――ベーリー中將は開戰以來職務を執り疲勞甚しき爲め賜暇休養中なるが其間米國シムス提督代りて臨時愛蘭海軍司令官の職を執り司令部には米國々旗を揭揚せらる(倫敦電報)

○乘船賃値上

大阪商船會社にては中國四國航路の旅客に對し七月一日より三割方の値上を實行に決せり(大阪特電)

○兩市へ御寄贈

李王殿下には今回御歸還に際し下關市へ千五百圓門司市へ五百圓御寄贈相成りたり(門司特電)

株式名義書換停止

定款第拾四條ニヨリ來ル七月一日ヨリ定時株主總會終了迄株式ノ名義書換ヲ停止ス

大正六年六月 株式會社朝鮮商業銀行

質 堀佐營業所 京城黄金町二丁目入(永樂町停留所北) 電話六三九番

寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛版 最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と可成親切な旨とし御需に應可候 京城日報社寫眞製版部

●マラリアに一番 ヨクキクスリハ 龍山林藥房製劑の マラリヤ特効丸 價要金十錢三十錢五十錢▲郵税二錢 ●ニセモノアリ御注意● 本舗 龍山 Ⓗ林藥房 代理店 京城本町二丁目 山岸天祐堂

釜山商店案内

内外雜貨卸問屋 釜山本町二丁目 近江屋支店 電話八〇二番 振替京城一三七番

食料 罐詰 洋酒 糖粉 煙草 卸問屋 (東) 釜山辨天町 あづまや商店 電話長三五八番 振替京城三九三番

内外雜貨卸問屋 明治屋本店 電話三四八一 振替

内外雜貨 鍋釜金物 サクラビール 石油 卸 近藤商店 釜山本町三丁目 電話長七六八番

婦人藥 ニシタンポン

▲特効(25) 子宮内膜炎 子宮頸管加答兒 子宮炎 膣炎 喇叭管炎 卵巣炎 子宮痙攣 子宮出血 月經不順 月經痛 神經衰弱 ヒステリー 不姙症不眠症 婦人病の豫防 月經時、姙娠中の膣内消毒

定價 四日分金五十錢 十日分金一圓 送料 一圓迄三十錢

本舗 東京市京橋區南傳馬町 大正製藥株式會社 振替東京三二七三番

全國各藥種店にて販賣す

「ニシタンポン」は最も進歩した坐藥(さしこみ藥)であります、之れを膣内に入れますと、患部へ直接に貼いて病氣を治すのです。その上其他の藥のものと違ひ、病氣でも、殘らず吸收して、ドンドン効めがあらはれますから、

子宮病に惱む御婦人達は今すぐ專賣特許婦人藥ニシタンポンをお用ひなさい!

○薩鎮冰の就任拒絶

第二次撤退したるを以て總參謀處を撤廢する旨宣言せり(上海特電)

爲さんとしつゝあり(紐育電報)

○川上理事露國行

絡の乘車賃、荷物料金率は從前の通りなりと(東京特電)

○花中將來釜

○白水參謀長來釜

て山口町及び下關市にて浴場専門の板間稼ぎをなし之れを旅興として

〇總參謀處撤廢宣言
天津特派員發[illegible]來電＝岑春煊氏は各省に打電し各省の軍隊は夫々[illegible]

〇赤十字費
米國全土より一億弗の赤十字費[illegible]れ九日間に八千萬弗の寄附を見たり[illegible]二十七日[illegible]

[illegible]滿蒙理事[illegible]長春を經て露都に向へり（長春特電）

[illegible]貨物運賃は現在の三倍に値上げされたる旨其筋に公電ありたり但日滿聯[illegible]

[illegible]師團長は李王殿下御出迎の爲め廿七日午後七時著列車にて來釜大池旅館に投宿せり（釜山特電）

◎浴場荒し [illegible]生れ住所不定墨職池永正入事藤井佐吉（二二）は先月初め出獄したるのみに[illegible]等にて[illegible]取して[illegible]現金入りの財布を竊取中を龍山分隊の刑事に取押へられ取調べの上檢事局へ送らる

◎美觀壯觀、海陸の光景
李王殿下釜山御著
『釜山の今宵は三島の夫れにも增して美はしきことよ』と仰せらる

本月八日京城御出發以來二旬の旅を重ねられたる李王殿下には旅中御恙もあらせられず二十七日午後六時五十分御氣色麗はしく釜山に御上陸相成りたり此の日釜山市民は早朝より國旗を揭揚し殿下の御歸還を待奉る程に午後

□五時四十分 御召艦肥前は警備艦朝霧、村雨の二艦に前後を警備せられて港口に其の雄姿を現はし同六時第二棧橋沖合に投錨せり、唯見れば港内の此處彼處には萬國旗を以て飾りたる汽船の數々枚の島の倒影と共に海波を染めて夕風は悅びにそよ吹けり斯くて六時四十九分轟然たる皇禮砲は軍艦肥前より

□起るよと見る間に第一棧橋の彼方よりは水上警察の汽艇第二稅丸先驅して進み來れば續いて艇首に燦爛たる皇族旗を輝かせる御召艦々載水雷艇は僚艇に殿せしめつゝ徐かに稅關棧橋に近づき旧木艦長の御先導にて陸軍大將の御正服を召されたる李王殿下の

□御英姿は拜 せられたり棧橋には李堈公殿下朝鮮貴族を始め內地人側にては立花師團長白水參謀長佐々木慶南道長官、水間慶南警務部長及び官民有志多數の奉迎あり堵列せる儀仗兵は殿下の御上陸と共に君ヶ代を吹奏し殿下には靜かに步を運ばせ給ひて稅關前の歡迎門を御通過

□沿道に堵列 せる學校生徒の中を過ぎ七時鐵道ホテル樓上に入らせられたるが停車場附近一帶は群集の山を築きたり尙夜に入りては釜山各學校生徒四千名の提灯行列あり蜿蜒たる火龍は八時を合圖に釜山の高地伏兵山の山腹を經て鐵道ホテル前に出づれば空には間斷なく烟花轟き紅、紫、靑、白

□閃光鮮かに 海には肥前の電飾不夜城の觀を呈せり、殿下には水色の周衣輕ろげに露臺に立ち出で給ひて終始御附武官を御側近く召されいと御滿足に此の壯觀を御覽相成りたり折から起る君ヶ代の樂に萬歲の聲天地もゆるがん許りにどよめき渡れば殿下には起立して

□御會釋あり 且つ近侍の者を顧み

『三島の夜も賑かなりしが釜山の今夜はそれにも增して美しゝ』

と、いと御滿足の御樣子に拜せり猶御旅館は一個中隊の步兵を以て警護し奉れり（於釜山金谷特派員電話）

□玄界航海中の御模樣
種々の餘興に興がらせたまふ

玄界航海中李王殿下隨員の談に曰く

『殿下には二十七日午前八時過ぎ御起床下關大吉樓下棧橋より艦載水雷艇に召され關門兩市官民有志の奉送を受けさせられつゝ煙花と

□皇禮砲の轟 く中を御乘艦肥前に御移乘長谷川總督は艦上迄御見送り申上げ別れの乾盃を擧げ給へり八時三十分御乘艦肥前解纜するや殿下には六連島附近迄甲板上を逍遙せられしが沖の島附近より西の風に雨さへ加はり警備艦は風波にもまれつゝ警備の任に當れり殿下には

□此の時艦尾 の御居室に入らせられたるが艦は殆ど動搖を覺えず女官の人々に至る迄聊かの船暈も催さずいと元氣に見受けられたり勝木艦長並に航海長は艦の動搖もやと心痛し只管海路の平安を祈りまつりたる甲斐ありて對馬附近より風波收まり霽晴れたれば殿下の

□御旅情を慰 め申さんと[illegible]運び、喫煙競走、武裝競爭、椅子取り、棒躍り等、種々の餘興を御覽に供せしが殿下にはいと御滿足の御樣子にて殊に棒躍りには興がらせ給へり備御乘艦肥前の大里沖にさしかゝるや小學校生徒千餘名手に〳〵國旗を振りかざして

□萬歲を連呼 せるには御喜悅を禁じ得ざる御樣子なりき艦內に於ては水雷發射方法に就き說明申上げたるに『海軍の武器は陸軍の武器よりも遙に複雜なり』との御言葉あり關釜間御航海中殿下には無線電信にて德壽宮に御旅情を御電信ありしが程なく鄭重なる

□御返電あり し由承はる御殿下は前記の如く長谷川總督の下關迄見送りあり次で山縣政務總監の同地迄御出迎ありたる爲心强く思召さるゝ由承はる（於釜山金谷特派員電話）

（上）太刀山　（下）右土州山　左伊勢の濱　＝廿七日夜南大門驛にて＝

來引きつゞき南鮮各地を巡業中であつた太刀山伊勢の濱一行の東京大相撲は途中一日の休みもなく豫定通りの

◎モンゴリア號
水雷に罹る
最上丸沈沒說

三井物産株式會社入電に依ればピーオー汽船會社汽船モンゴリア號（九、五〇五噸）は孟買沖に於て水雷にかゝり沈沒せるが最上丸も亦沈沒せりとの風說ありと（大阪特電）

◎火藥庫硝化作業室爆發
負傷者數十名を出す

二十七日午前十時上州高崎市を距る二里なる岩花村陸軍火藥庫內の硝化作業室爆發し附近の木造建物を粉碎し負傷者數十名を出せり（東京特電）

◎船員女教師を辱めんとす

桑港來電＝今回入港せる東洋汽船會社汽船天洋丸船員宮永某は日本より便乘せる女教師水原ちゑ子（三一）を三度辱めんとして船客に發見せられたる由（大阪特電）

◎舌を嚙切つて
病婦自殺を企つ

京城旭町二丁目居住京城印刷所雇人恒川惣太郎內縁の妻後藤かど（一九）は昨年十一月頃肋膜炎に罹り明治町川崎醫院にて加療中なりしも快癒せず昨今肺結核に變症したる模樣にて其れを悲觀したるものか二十七日午前四時頃自宅にて舌を嚙み切りて自殺を企て苦悶中を家人が發見し應急手當を加へしかば生命には異狀なかるべしと

◎簡閱點呼注意 內地各聯隊區にては本年の簡閱點呼を執行し居れるが是につき現役二年の兵役を終了して退營したる步兵及び電信隊附工兵、衞生部隊附なりし各兵卒は退營後滿一箇年の間は歸休の形式なるを以て其の間は入營せし當該管轄聯隊區の簡閱點呼を受くべき規定あるにも拘らず滿鮮臺灣樺太等の植民地に渡りて之れが點呼を免れんとする者あれ共是れ等は悉く告發處罰さるゝは云ふ迄もなければ昨年末退營せし前記の兵士は右の注意を要すべしと某當局者は語れり

◎豪農の美擧 江原道旌善郡[illegible]面[illegible]は相當の資產家にて昨今細民の窮狀を救濟せんと粟穀類十七石餘を一人一斗を限り附近部落民に一斗六十錢宛に賣却し與へたりと▲忠南青陽郡化城面九在里[illegible]（二九）は六月十四日部內極貧者二十二戶に對し白米六斗二升五合宛を贈與せりと

◎主金を拐帶 巖手縣氣仙郡唐丹村生れの田中專井上房[illegible]（二八）は京城明治町瀨川某方に雇はれ中五月十一日雇主より現金百二十圓、小切手五枚（額面百五十九圓餘）を十八銀行支店に預け入れ方を命ぜられて其の途中現金は其儘橫領し他は雇主に郵送し置きて東京に逃亡潛伏中を取押へられ本月十六日本町警察署に押送され取調べの上檢事局へ

◎豹の兒を拾ふ 咸南新興郡下元川面新豐里の岩上に生後二十日位を過ぎたる豹の兒一匹彷徨ひ居れるを此程通り掛りたる同郡下元川面新豐里の金仁植が發見して生捕り自宅に飼育中なるが身長八寸尖四寸重量二百匁ありと

◎晴の乘込
太刀山一行到著
南大門通の雜沓

東京大相撲太刀山伊勢の濱一行は豫定の如く二十七日午後七時二十分南大門驛著列車にて到着勸進元及び

▲相撲關係者 一同キリン、サクラ各ビールの盛んなる出迎へを受けて先著の取締友綱太刀山を始め伊勢の濱、黑瀨川、土州山、敷島、紅葉川、淸瀨川、若島の順にて腕車を聯ね之れに闖取格以上の行司十兩力士等何れも車にて續き

▲樂隊の先頭 にて南大門通りを練て華々しく乘込みたるが驛前より本町入口に至る道の兩側には見物人堵を爲して犇めき合ひゐたり、かくて一行はそれ〳〵所定の宿舍に入りたるが昨年以來の盛んなる乘込みなりき

腕捲りして軍歌を高唱
車中のいろ〳〵
力士氣取の鮮人新弟子停車毎に曳々揉合

本月十六日初日の釜山を振出しに南

▽巡業を 續けて二十七日朝群山出發、正午三十分大田で乘換へ京城に向つて來る一行を大田まで迎へて同じ列車に乘ると友綱、太刀山、木村庄之助、黑瀨川、敷島等は前夜の急行で先發とあつて姿を見せず貸切の二等室には檢査員の二所ケ關、行司の庄五郎を始め伊勢の濱、土州山、紅葉川、淸瀨川、若島等が橫になり大胡坐を組んで廣い車內を狹めてゐた、無口の

▽伊勢の濱 は默々として新聞を讀み耽り、土州山紅葉川も淸瀨川も若島も神妙型の講談本か何かを見ながら皆退屈轉んで靜かだ、それでも一行の殆んど全部は五六年から七年振りの京城入りとて口を開けば京城の話がはづんでゐた、十兩以下の連中の乘つた三等室の方はと見ると頗るザツクバランで褌一つの素ツ裸で大の字にフン反り返つてラツパ節を唄つてゐるかと思へば

▽浴衣の 袖を捲り上げて軍歌の合唱をしてる無邪氣なものもあり、中には車中の退屈紛れに驛々の停車毎に新弟子らしいのを引張り出して曳々と揉み合つてゐるのもあり大邱から若藤に弟子入りしたといふ朝鮮人の中雲岩事達城山はまだ頭を角刈にしてゐるが小鬢張りした

▽仕著せ の浴衣なにか著込んで悉かり力士氣取りでゐるのも面白い、太刀山の秘藏弟子鞍ケ嶽は群山で大腸加答兒をやつて四十度程の大熱往來に苦しんださうだが今では大分よくなつたと言つてゐた

◎不貞の妻を慘殺 咸南長津郡中南面泗水里金承俊（五）長男昌吉の妻鄭夏女（三）は豫て無斷家出して多數の男と關係中を此程承俊が發見し說諭したるに鄭夏女は却つて反抗したるより亂打して卽死せしめ承俊も其の場に自殺を企てしが果さざりし一件は咸興地方法院の公判に附せられたり

◎悲觀して自殺 高陽郡漢芝面漢江里梁仁根（五〇）は本年三月頃出稼中長男泰山が病死したることを六月十七日歸宅して聞知し俄かに落膽悲觀したる末二十四日夕刻苦壓汁を仰ぎて自殺を遂げたるより憲兵出張檢視の上屍體は妻金氏が引取れり

◎汽罐夫の轢死 二十三日元山より京城行の列車に高山驛より同所汽罐夫鮫島武雄外一名が三防川に魚釣りに行く爲乘り込み三防驛に降車せんと其の途中なる川の附近にて鮫島は汽罐車より外一名は客車より何れも飛び降りをなしたるに鮫島は着衣が引つ懸りて遂に線路內に捲き込まれて慘死するに至れりと

京日案內
普通一回前金五十錢　番外一回前金一圓（匿名一圓に拾錢增し）
▲市內以上の御申込は特に割引　▲廣告中途御申込中止の節は前金返戾せず　▲御照會は返信附にあらざれば回答せず　▲御照會の節は必ず數字の番號御記入を乞ふ

普通

外交員募集 京城壽町八番地 國旗製造販賣元 國誠社 194

◎雇はれ度し 本年中學卒業年齡廿二歲志望官廳銀行會社商店事務員 蓬萊町三丁目七五ノ五中村方 神榮 196

◎看護婦三名見習數名募集す 志望者は履歷書携帶本人來談あれ 仁川 佐藤病院 186

◎市內不動產擔保低利金融 京城明治町二丁目六十三番地（月本商店前入）山田 184

金融 オルガン ▲書籍ピヤノヴァイオリン 立替 本町二にて ウツボヤ書店 電話[illegible] 124

番外

汽罐及搗鑛機賣却 汽罐廿五馬力搗鑛機杵數廿本杵重三百五十磅 望の方委細御照會を乞ふ 慶北善山郡玉城面九鳳洞 吉尾 193

◎バランス讓受したし（ミリ十分の一以上のもの）太平通二丁目三三三番地 斑倉へ御通知を乞ふ 191

店員 至急入用 六名 年齡十八九歲より二十五六歲迄 但し確實なる保證人を要す 仁川新町 津田兄弟屋 187

臨時雇採用 年齡廿六歲迄希望者は本人來談あれ 身體强健軍人出身者 京城日の出町 志岐組 131

恩給年金立替 即時取引退隱料一切千圓以上別契約 京城櫻井町（大正館向）元祖 博多屋本店 104

石版畫工募集 京城櫻井町 戶部印刷所 181

◎外交員採用 京城櫻井町 戶部印刷所 182

有給外務員募集 履歷書携帶面談の事 日本生命保險會社朝鮮京城代理店 188

◎鑛物定量分拆 太平町二丁目三三五 朝鮮公論社左横小路 電話長二三四四 坂元分拆所 189

◎はねつき うちみ くじき 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 59

乘合 貸 間自働車 片道四圓 ◎京城驛前八時 ◎春川發前八時 京城 春川 城水標橋通り 電話二一三八番 京春自働車商會 松田誥男 72

恩給年金即時立替 西四軒 無保險取扱確實也 京城南大門外舊御成町 短鮮支店 京義線沙里院 山口屋 廣川商店 84

蚊帳荷著 最安時期仕入格安提供 龍山元町 こまや 植西吳服店 電話四二八番

質 大口歡迎 京城黃金町長橋町入 電話二九一六番 商品擔保便利取扱 田村質店

資本金壹百萬圓　諸積立金二十七萬餘圓
株式會社 朝鮮商業銀行
京城南大門通一丁目 電話五五八番 一六八一番 振替京城一六三四番
一般銀行業　倉庫業
頭取 趙鎭泰　支配人 豊田明敬
南大門支店　本町支店　仁川支店　平澤支店　群山支店　東大門出張所

女學世界 七月號 □定價三十錢 郵稅三錢□ 博文館
■學窓より田園へ…農學博士 新渡戶稻造
■銀杏の葉…茅野雅子
■私の主義と趣味…嘉悅孝子
△夏の武藏野（散策の道しるべ）…白石實三
△稚い頃の思ひ出…岡本田治子
△同級會スケッチ…德永恕美子
△初夏の郊外生活…山中靜子
△閨秀歌人蓮月尼の奇行…北島敬子
△紫式部の面影…小松原敬子
■馬頭觀音の御利益（滑稽童話）…高木文學士
家庭小說 心の響（本號より連載の長編）…北島春石
■春の炎（連載小說）…秦木しづ
△小兒の貧血と其の療法…宗野醫學士
△築地の病院より…岡部めぐみ
△夏の夜の女のがたり…筑波根老人
△盜賊に襲はれた時…寺山淑子
△初夏の一品料理…ふみ子
△瀕死の病兒が辛子湯で治る…大村淑代子
■新婚夫婦夏の僧院生活…關美香子
■小兒の緣談を妹が選ぶ迄…國千鳥
■眼の表情と美容術…醫學博士 小川劍三郎

イケダ小兒病內科醫院 池田季雄 京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目 電話（醫院一三四〇番 自宅八八〇番）

▲船遊の好季節 ▲遊船貸船 ▲御一報次第參上御相談可申上候 漢江遊船俱樂部 龍山元町河岸 電話一〇番

比較は最良の撰擇法なり!! サクラ正宗 サクラ正宗 京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話[illegible] 振替京城五七番

朝鮮銀行 當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候 京城 電話[illegible] 振替貯金口座京城[illegible]
支店 東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、吉林、哈爾賓、營口、傅家甸、龍井村
出張所 右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

花筐（三九）

松田竹の島人作

田淵は、京子の父である石島泰民の私塾に居た頃から、京子に憧憬れてゐて、今では京子が縦令市野誠信の妻ではあるけれども、男が一端恁うと思ひ込んだ以上、飽くまで意志を貫徹さうとしての、今までの經過を語つた。

お豐は、田淵が自分に頼んだことに由つて、市野夫婦の間を割く意らしく、それには何にか錯綜つた理由があるだらうとは察してゐたが、京子に對してそれ程の執念な戀の爲めだとは思つてゐなかつた。だから田淵の斷を聞くと、内心に驚いたが、茶屋奉公から何處其處と渡り歩行いて、擦れ切つたお豐であつたから、内心の驚きを顔に出すやうなことはなかつた。

「貴方は蛇見たやうに、執念深い方ねえ」と宛も茶化すやうに言ふと、田淵は眞面目に、

「京子さんには、一身を捧げても構はん程さ。考へると莫迦のやうだが、これも男の意地でねえ」

「そりや市野の奥樣はお綺麗で居らつしやいますけれど、外にお美しい女の方が居らつしやらない理由ぢやありますまいし」

「其處が男の意地さ」

「男つてものは、妙なところに意地を立てるもんですねえオホ……」

とお豐は笑ひつゝ、

「貴方の今の御斷ですと、市野の奥樣は、貴方の仰る通りにお爲りにならなかつたと爲ると、怒つて歸らうにも逗子には居らつしやらないぢやありますまいか？」

「京子さんが、外に往くやうなことがあつたら、直ぐ電報で知らしてくれと、家主に頼んで置いたが、其家主は元來僕の懇意なものだから、京子さんが外へ往くとなると、直ぐと知らしてくるさ。ところが今以て何んとも言つて寄來さないところを見ると未だ逗子に居るに相違ないよ。」

「然うでせうか。」

「それでね、お豐さん、京子さんが僕の借りて遣つた逗子の家に、今以て居ると爲ると、未だ熱はあつて、將來の遣り方に由つて、僕の意に從はんでもないと思ふがねえ、其處でお前に往つて貰つて、京子さんが家出を爲てから、別莊の庭掃除の老爺の女ねえ、彼の女に市野君が逆上せ切つて遠からず、本妻に直すだらうといふやうなことを、日頃のお前の辯口に任せて、京子さんが一層市野に愛想をつかすやうに言つて貰うんだね。」

「そりや言ふとなれば、其處の處は何んとでも巧く言ひますさ。それでねえ田淵さん、奥樣の居らつしやる處を、妾が什麼して知つてゐたかですね。それは甚麼鹽梅に言ひませうか？。」

「其事かね……」と田淵は考慮へて、

「別莊の老爺の女が、時々根岸の市野の家に來て、意張つて憎らしくつて仕樣がないが、先の奥樣が居らつしやると可いと思つたもんだから、僕が市野の家に往つた時、其麼ことを言つたら、逗子に居ることを僕が敎へたとか何んとか巧く言んだね。」

「ぢや其麼鹽梅に、巧く言ませう。」

「什麼か蹤跡の出ないやうに、巧く遣つておくれよ。」

「そりや貴方遣りますとも……おや何んですね田淵さん、必ず奥樣が市野の旦那と緣を御切りに爲つて、貴方に御靡きに爲るやうに爲れば可いんでせう。」

「然うだとも。」

「わけはありませんや。」

「然う言つたつて、あれで京子さんは却々情が硬いのだからねえ。」

諸官廳御用達 山羊乳 京城獨立門東側 山羊牧場 電話一七七二番

●●●●●回鳥堂の積徒を祝して●●●●●

○石垣に住む蟲も連れ鳴くよ　浮碧樹
○これから揃ひの浴衣も見られる　句平
○夏月夜蔦吹く庭の二人かな　虎耳
○短夜や日新しき一人　日油

□湖南吟社第三十二回例會　兼題　衣紋竹、雷

風過ぎて帷子竿の肩ぬけし　桃雨
衣紋竹の朱に名門の矜誇る　靜山
風興の客皆去りてはたゝ神　同
古墳掘る祟る答やはたゝ神　同
廓を出て苦勞三年や衣紋竹　千里
一山の鎭めの楠や落雷す　同
遠雷や雨の鴫門に梢歇なき　巨
移り香に眉する妻や衣紋竹　淡水
祭壇の幣の搖ぎや遠雷す　同
衣紋竹今宵見馴れぬ單し紋　待宵
江戸附の刷し北齋や衣紋竹　同
濫伐に御山怒るやはたゝ神　同
うつり抜し其君の香や衣紋掛　十專
はたゝ神御城主國へ入る日なり　同
任地三里松の大樹やはたゝ神　松年
鶴巣くふ天主の松や雷晴るゝ　春三女
雷や尻追ふ雛の小走りに　青夢
雷や又一しきる狐祭　雅深
尻たゝく當才駒やはたゝ神　中京
醉紀文の忘れ帷子竿にあり　風骨
風通しの高尾か部屋や衣紋竹　同
打ちそこねて太鼓落ちり子雷　同

新刊紹介

▲パナマ運河と列國貿易競爭（栗田博譯）　本書は米國加州大學教授ハツチンソン氏の原著にして曾て巴奈馬地峽に關係して調査せる事項に氏が該博なる智識を傾倒して成れるものなり第一章緒論以下第九章結論に至る迄專ら航路の經濟的比較を試み太平大西兩洋の諸國の貿易趨勢より商品の分類細目を解說し交通貿易の利害得失を論じて國際貿易の將來に關し各般に亘れる斷案を下したるものにして條理整然論旨透徹同運河の平和的使命を說きて餘蘊あるなし當局運河の開鑿が東西兩洋の貿易に甚大の變化を與へたるは統計の示す所にして且つ今次の大戰が我國の好機を齎らしたるの秋に際し同運河を通じて我國の對外貿易の關係的地位を明かにし我國をして東洋市場に優越なる地歩を占むる事に留意するは緊要なる研究事項にして本書が是に貢獻する大なるを信ぜずんばあらざる也（一圓五十錢東京本郷駒込坂下町四八大日本雄辯會）

▲陸地棉栽培沿革史　本書は木浦に開催せられたる陸地棉栽培十週年記念會の記念出版にして第一編に於ては世界及び日本に於ける棉花需給の狀況を敍し第二編には陸地棉試作時代より獎勵時代を說きて其の計畫に及び第三編には栽培獎勵に關する諸般の施設事項を列擧し第四編に入つて棉花販賣市場棉花工業及棉花貿易を述べ以て栽培十年幾多の迂餘曲折を經て今日の所謂棉の木浦か木浦の棉かなる盛況を見るに至れる沿革を細敍せり而も陸地棉栽培の前途には尙其の施設に改良に努力の待つ可きもの少なからず本書が過去の苦心を語ると共に將來同事業發展の企畫に效果あるべきを信ず（非賣品木浦商業會議所内陸地棉栽培十週年記念會）

▲株式年鑑（大正六年度）　主として本年三月末迄の決算報告に基き日本全國及び滿洲に於ける銀行會社の財産狀態は勿論其他各社に關する諸般の重要事項並に財政經濟の諸統計を登載せる以て過去半年の間に於ける財界の波瀾經濟界の狀況を見ると共に將來の大勢を知悉するの資たるべし、投機業者は勿論一般商工業家並に財政經濟に關係し志ある者の必備の良書たり（三圓大阪東區備後町二の二野村徳七商店調査部）

●●受驗必携朝鮮公文解釋（京城淸風學校教官安達大壽計著）　本書は總督府の内鮮人雇員採用試驗に於ける公文解釋科を初め鮮人に對する各種試驗の國語科問題が殆んど全部總督府の公文書中より提出せらるゝに鑑み朝鮮總督府の公文書に就き既に提出せられたる各種試驗問題は勿論今後の試驗問題として適切なる個所を悉く網羅摘出し之に詳細懇切なる解釋を施し且普通文官試驗模文科問題解答をも加へ以て一般受驗者の參考に資せんとせるものなり（四十錢京城本町一大阪屋書店）

▲市町村雜誌（六月號）　衆議院議員選擧法第一〇二條の疑義再び補選權に就て、木村利用の經營其他（十錢東京芝區田村町六共社）

涼み臺

親切な文相　文相岡田良平君は初對面の人つきが惡く澁面作つて話をする、アンナ無愛想な人はないと京都大學總長時代から、一般の受けは宜しくなかつた◇然しそれは表面の事だけで文相ほどの懇篤な、そして又親切な世話好きは二人とはなく、誰れが訪ねて行つても決して門前拂を喰はすことはない◇笑ひもせず愛嬌もないが話に實があつて大學卒業生に就職難の者がある時は親切に何處までも奔走してやる、文相となつた今日も京都大學のものが訪ねて行くと直ちに面會する、そして表面に顯れた澁面に似合はぬ親切な言葉で話を聞く◇殊に非常に正直で又謙遜で嘗て花柳界に浮名を流した事がない君子だと云ふので角帽仲間では氣受がよい

■正副議長大ぢれ　親任式に堂々と合乘の自動車で、坂下門を入つた大岡、濱田の兩君得意然と車中に納まつて見ゐたが、何をいふにも當座凌ぎの借り自動車の悲しさ、東車寄の斜坂で忽ちパンクして了つた◇運轉手、泡を喰つたが車は何としても動かぬ外は雨は降るし、兩君は腑を立ての靴で下車もならず、やきもきして居た◇一方の寺内首相はもう來る時分と玄關先きに待てど暮せど兩君の姿が見えぬ、屬官を叱咤して階上の窓から偵察させると、計らざりき、直前の坂路に自動車と奮闘の有樣とは『それ私の車で迎へて來い』とあつたので、兩君も漸と安心すれば首相も安心した

▲書籍案内

高濱虛子　俳諧師　價一、〇〇　郵一二
故正岡子規監修　新俳句　價〇四五　郵〇六
德冨蘆花著　小說　不如歸　價〇四五　稅〇六
同　小說縮刷　思出の記　價〇六五　稅〇六
京城日報代理部（振替京城三〇〇番）

最新刊

▲山縣五十雄 村上唯吉共著　富の道しるべ　價十五錢 郵税二錢　京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

書名	著者	定價
簞笥	岡本米藏	一、〇〇
進むべき道	南條文雄	一、三〇
新譯韓非子	野中元三郎	九〇
家庭改良と家庭教育	佐々木吉三郎	一、〇〇
徹頭小學の基本概念と問題と解方	永野末治	一、三〇
新案岡堀式算術練習法	岡堀貢三郎	六〇
簡便なる速算の秘訣珠算と筆算	佐々木政吉	五〇
俗諺大辭典	堀部秀涼	特一、八〇
實驗蔬菜不時栽培法	黑田經綱 町田良一	共二、七〇
和洋建築設計製圖	木檜恕一	一、二〇
論理學撮論辯學與義	今福忍	九〇
竹の下枝	小川直子	二、〇〇
文範集成模範書簡文講話	大町桂月	特一、二〇
ジャンクリストフ闇を破つて	三浦關造譯	一、三〇
東京の三十年	田山花袋	一、五〇
日本衛生若き婦人の心得	吉岡	一、〇〇
光源氏の一生	高須梅溪	六五
漫畫道中記	岡本一平	六〇
琵琶名曲集	永田錦心	八〇
俳諧芭蕉談	西天庵文幾	五〇
縮刷いたづら小僧日記おてんば娘日記合本	佐々木邦	七〇
繪入日本世界見物	澁川玄耳	一、二五

大阪屋號書店　京城本町一 電話六六〇・二六六番 振替京城二五七三番

ルーデサック 特製品
A十個四十錢 B十個六十錢 廿五錢女用一個 八十錢 七十五錢廿個以上一割引 ▲月經帶 一個 七十錢 郵送料 振替京城三二七番 京城黄金町三 山田文殊堂藥房

大邱浦項間自動車時間　大塚農場自動車所　大邱出張部　電話一一七番

醴泉金泉間自動車時間　金泉織居自動車支部　金泉電話四八番

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行　朝鮮總督府命令航路　第廿共同丸　六月廿九日午後入港　七月一日前十時出帆
阿波共同汽船株式會社　仁川代理店 本町四丁目 野口商會（電話一七三番）　元山代理店　京城取次店 河村運送店

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行　和歌浦丸　六月　日後五時出帆
○門司、神戸、大阪行　立神丸　七月一日後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行　山東丸　六月三十日後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、淸津行　第三平安丸　六月　日後四時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行　第三平安丸　月　日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天眞丸　每月一日九日十四日廿一日廿六日　午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

朝鮮郵船出帆
○江原丸 六月 日 ○京畿丸 七月二日 ○黄海丸 七月 日 ○成鏡丸 六月廿八日　釜山發
○鏡城丸 ○昌平丸 ○咸鏡丸 六月 日　元山發
○慶安丸 六月 日 ○慶寶丸 六月 日　釜山發
○江陵丸 ○襄陽丸 每日　釜山發 浦項發
○三浦丸 六月 日　釜山發
○海州丸 ○統營丸 六月 日 ○巨濟丸 ○慶寶丸 每日　釜山發
○平陳丸 六月 日　元山發
○順天丸 六月 日　木浦發
○慶興丸 六月 日　木浦發
○公州丸 六月 日　木浦發
○麗水丸 ○晋州丸 六月 日　仁川發
○宗信丸 六月 日　仁川發
○全州丸 ○南陽丸 每日午前　仁川發
切符發賣所　仁川京城通り 明治旅館 電話二六一番
切符發賣所　内國通運會社京城支店 電話五五八番

大阪商船仁川出帆
○關門、神戸、大阪行　南都丸 六月廿九日　汕頭丸 七月三日　南都丸 七月十二日　後二時出帆
○神戸、大阪行　汕頭丸 六月 日後五時出帆
○木浦、釜山、巖原、粥の浦、長崎行　安東丸 六月 日　安東丸 七月十三日　後二時出帆
○横濱行　濟州丸 六月 日　福州丸 七月廿七日　後二時出帆
○南浦行　福州丸 六月 日　南都丸 六月三十日　正午出帆
○鎭南浦、大連行　安東丸 七月八日　安東丸 七月廿六日　後二時出帆
○大連直航　濟州丸 六月 日　福州丸 六月 日　正午出帆
○西湖津新浦城津淸津行（元山出帆）　宮島丸 七月十日後十二時出帆
○淸津行（元山出帆）　安平丸 七月二日後十二時出
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）　湖北丸 七月六日前四時出帆　大智丸 六月 日後四時出帆
御注意　切符發賣所　大阪商船會社仁川支店 電話二二番　内國通運會社京城支店 電話五五八番　仁川京城通り 明治旅館 電話二六一番

日本郵船仁川出帆
○大連行、太沽（天津）牛莊行　相模丸 七月廿六日正午出帆　高砂丸 七月五日正午出帆　三河丸 七月十五日後六時出帆
仁川海岸町 十一番地 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○君が代丸 七月一日後四時出帆
○大有丸 七月五日後四時出帆
○秀吉丸 七月 日後四時出帆
○神代丸 月 日後四時出帆
仁川海岸通三丁目 電話五十九番 高杉回漕部

商況　大阪期米　平壤期米特電　頭上嶋模樣